奈良教育大学

大学案内2022

Nara University of Education

奈良の地で―
学び創造、学び発信。

奈良教育大学の3つの柱

1 one 人・環境・文化遺産との対話を通した教育の追究

本学は、古都・奈良の中心に位置し、豊かな自然や世界遺産を含む多くの伝統文化遺産に囲まれています。また、奈良国立博物館・奈良文化財研究所との連携によって、奈良で学ぶ喜びを実感しながら、感性を磨くことができます。

このような恵まれた環境の中、全学生数が約1000名という特長を生かし、アクティブ・ラーニングを重視した対話型の授業や、研究室ゼミでの丁寧な指導により、学問・芸術・スポーツ等を深く追究します。

人と対話し、環境や世界遺産と対話することを通して、確かな学力を基盤とするコミュニケーション能力やプレゼンテーション能力など、教員として必要な資質・能力を着実に身に付けることができます。

2 two 持続可能な社会づくりに貢献できる教員の養成

本学は、附属学校園とともにユネスコスクールに認定されています。また、「持続可能な開発のための教育 」（ESD：Education for Sustainable Development）の推進拠点として研究を重ねています。

これからの学校教育は、すべての校種・教科等において、「持続可能な社会づくりの担い手」を育成することが求められます。本学では、環境、文化、平和、人権等、ESDの対象となる様々な課題に対応できるカリキュラムを用意し、教員を目指す全学生がESDについての知識、指導方法を身に付けることができるよう取り組んでいます。

このような教育を通し、「持続可能な開発目標」（SDGs：Sustainable Development Goals）の実現を目指す大学として、地域や社会へ貢献しています。

3 three 教員養成と教員研修の融合

本学は、「教員養成」と「現職教員研修」を大きな責務としています。教員養成では、実習を含む大学の授業やスクールサポートなどの自主的体験活動が中心となります。教員研修では、本学教員が現職教員へ最新の知見を提供し、アドバイスを行っています。

さらに、本学学生が現職教員研修に参加することや、本学教員が地域の学校や子供との関わりから得た知見を大学の授業に提供することを通し、「教員養成」と「教員研修」の融合を図っています。

この取組は全国的にも高く評価され、大学在学時から教員就職後まで、一貫した実践的指導力と研究遂行能力の育成を行っています。

Contents 目次

プロローグ
- イントロダクション
  - 奈良の地で―学び創造、学び発信。
  - 奈良教育大学の3つの柱
  - 学長メッセージ…… 2
  - アドミッション・ポリシー、組織…… 3
- 特　色
  - 特色のある授業・取り組み…… 4

教育システム
- 免許状・資格
  - 取得できる免許状・資格…… 6
- 専攻紹介
  - 本学の学び…… 8
  - 専攻紹介…… 9
  - 教育発達専攻…… 10
  - 教科教育専攻…… 18
  - 伝統文化教育専攻…… 38
- カリキュラム
  - 教育実習をふまえた実践的カリキュラム…… 42
- 教育実習
  - 教育実習…… 44

インフォメーション
- キャンパスライフ
  - キャンパスカレンダー…… 46
  - サークル活動、大学祭…… 47
  - 学生生活…… 48
- 国際交流・大学院
  - 国際交流…… 50
  - 大学院案内…… 51
- 就職支援
  - 充実した就職支援…… 52
- 進路・卒業生
  - 進路状況…… 54
  - 卒業生からのメッセージ…… 55
- Q&A・資料請求方法
  - Q&Aコーナー…… 56
  - 資料請求方法…… 57
- キャンパスマップ 附属施設・設備
  - キャンパスマップ／附属施設・設備… 58
- 入試状況
  - 令和３年度入学試験状況…… 60

奈良教育大学イメージキャラクター
なっきょん

創立120周年を記念して、学生の公募により誕生しました。
奈良のシンボルであるシカをモチーフに、教育大学の「育つ・育てる」というイメージを角の新芽（ふたば）に表現しています。

Message

実践を重視し「自ら学び続ける」次世代教師を育てます

明日の社会の担い手である子どもたち、そんな子どもたちに学ぶ喜びを伝える、子どもたちの学びを支援する、そして、子どもたちの成長を見とどけ、いっしょに泣いて笑って、自らも人として成長する、そんな教師の道を歩もうとする人が集い、いっしょになって学び合う、それが、奈良教育大学です。

本学は、1888年（明治21年）に設置された奈良県尋常師範学校を起源とし、130年の長きにわたって、奈良県をはじめとする教員の養成に大きな役割を果たしてきました。

次世代の教員に求められる、教科内容についての確かな理解と指導力、子どもたちの成長や発達に関する確かな知識と個々の問題への洞察をふまえた実践的力量、学校経営についての企画力やコミュニケーション力など、確かな教師力、豊かな人間力を自らのものとする学びがみなさんを待っています。

真摯に学問に取り組み、グローバルな視点をもって世界へ目を見開き、幅広い教養に裏打ちされた人間性豊かな次世代教員を志す皆さんの入学を、心からお待ちしています。

学長　加藤　久雄

アドミッション・ポリシー

奈良教育大学は、未来を担う子どもの育ちを支援し、学ぶ喜びを伝え、自らも人として成長したいという学生が集い、互いに学び合う場です。また、世界遺産をはじめ、数多くの貴重な文化財や豊かな自然に恵まれた環境のもと、小規模大学ならではのメリットを生かして、深い学びを実現します。

教員を目指し、ともに学ぶ仲間として、奈良教育大学教育学部では、次のような意欲と能力をもつ学生を求めます。

① 子どもの成長と発達に寄り添い関わっていく意欲をもつ人
② 教育を通じてよりよい社会を築いていく意欲をもつ人
③ 文化、科学、芸術に魅力を感じ、その価値を子どもに伝えるための思考力と表現力を磨きつづける意欲をもつ人
④ 他者の意見や気持ちを受けとめ、自分の意見や思いを表現し、他者と協働しながら課題の解決に立ち向かうことができる人
⑤ 教育学部で主体的に学ぶために必要な基礎的学力や技能をもつ人

組織

		課程	専攻	専修・履修分野		入学定員
奈良教育大学	教育学部	学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修		255人
				心理学専修		
				幼年教育専修		
				特別支援教育専修		
			教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	
					中等教育履修分野	
				社会科教育専修	初等教育履修分野	
					中等教育履修分野	
				数学教育専修	初等教育履修分野	
					中等教育履修分野	
				理科教育専修	初等教育履修分野	
					中等教育履修分野	
				音楽教育専修	初等教育履修分野	
					中等教育履修分野	
				美術教育専修	初等教育履修分野	
					中等教育履修分野	
				保健体育専修	初等教育履修分野	
					中等教育履修分野	
				家庭科教育専修	初等教育履修分野	
					中等教育履修分野	
				技術教育専修	中等教育履修分野	
				英語教育専修	中等教育履修分野	
			伝統文化教育専攻	書道教育専修		
				文化遺産教育専修		
	大学院　教育学研究科　修士課程 専門職学位課程（教職大学院）					70人
	図書館（教育資料館を含む）					
	次世代教員養成センター					
	国際交流留学センター					
	特別支援教育研究センター					
	理数教育研究センター					
	自然環境教育センター					
	保健センター					
	附属中学校・附属小学校・附属幼稚園					
	事務局					

奈良教育大学だから、こんな学びができる!!
特色のある授業・取り組み

スクールサポート（学校支援ボランティア）で、地域貢献と自らの実践力の向上を実現させよう!!

スクールサポート認証・研修制度

奈良教育大学では教員を目指す学生が、より早い段階からより長期にわたって現場経験を積むことができるように、教育実習とは別に体験型学習支援「スクールサポート研修・認証制度」を実施しています。各教育委員会と連携を取りながら、学生を「スクールサポーター（学校活動支援ボランティア）」として学校現場に送り出すと共に、「スクールサポーター研修会」を開講し、修了した者には「スクールサポーター２級」、「スクールサポーター１級」を認証しています。また、「スクールサポーター２級」取得者（見込者を含む）を対象に、「学校フィールド演習Ⅰ」、「同Ⅱ」を開設しています。この科目では学校支援活動に従事し、現場での経験を通して学校の教育活動や課題の理解を深めることができます。

理数ならまかせて！ 理数大好き先生『Super Science Teacher（SST）』になろう!!

SST養成プログラム

奈良教育大学では、理科・数学（算数）に強い教員の養成に力をいれており、理数教育研究センターにおいてSST（Super Science Teacher）養成プログラムを実施しています。

数学・理科の教員免許取得予定者を対象としたSSTコースと、それ以外の小学校教員免許取得予定者を対象としたSSTベーシックコースの２種類を開設しているため、専修にかかわらず参加が可能です。先端科学の成果に触れることや、論理・抽象的思考力を向上させる少人数ゼミナール、実践的な教材・カリキュラムの開発、教育現場での実践的活動などによって、理数科教育の救世主として活躍できる教員の養成を目指します。

奈良で文化遺産を学んで、伝統文化という得意分野を持つ教員・教育者になろう!!

文化遺産教育プログラム

奈良の特色である文化財・文化遺産を対象としながら、中学校・高等学校での教育内容・方法を豊富化できる教員・教育者となることを目指すプログラムです。日本や源流としてのユーラシアの文化遺産に接し、実技も交えて文化遺産の材料・技法を体得し、また文化遺産を形づくる材質とその科学的調査法を学んで、地域に即した文化遺産調査、さらにESDの視点を活かした教材化の試行へとつなげます。文化遺産教育専修以外の学生も参加可能です。

奈良女子大学の学生とともに学ぼう!!

協働教養科目「奈良と教育」

奈良教育大学と奈良女子大学が協働で企画・運営する教養科目「奈良と教育」では、両大学の学生が一緒に、「奈良と教育」に関する専門家のお話を聞いたり、実地に赴いてフィールドワークをするなどして、「奈良と教育」をテーマにした課題探究型学修を行っています。互いの大学を訪問したり、双方向遠隔システムを使ってそれぞれの大学にいながらにして同時に授業を受けるなど、授業の方法も様々に工夫しています。

SDGsに貢献し、持続可能な社会の創り手を育てる指導力を身に付けよう!!

ESDティーチャープログラム

SDGsとは持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals）の略で、環境問題や貧困、紛争、経済格差など様々な地球的課題への対策が世界中で進められています。このような課題を自分事として捉え、その解決に参加・参画する人を育てる教育がESD（Education for Sustainable Development：持続可能な開発のための教育）です。奈良教育大学では、近畿ESDコンソーシアムを組織し、近畿地方を中心に学校教育・社会教育の分野でESDの普及・推進に取り組んでいます。

その取組の中核がESDティーチャープログラムです。学生と現職教員が一緒になってESDを学び、所定の要件を満たすことで、学長よりESDティーチャーの認定証が授与されます。これまでにESDティーチャーに認定された学生数は31名、現職教員数は117名です（いずれも2016年度～2020年度、5年間の合計）。

ESDティーチャープログラムには、ESD関連の科目履修の他に、学校現場や地域で展開されている取組へのボランティア参加（ESD実践）、授業以外にSDGs・ESDに関する講演会や研究会に参加して学ぶESD演習、現職教員と協働的に学ぶESD連続セミナーなどが用意されています。「ESDティーチャー認証制度」があるのは、奈良教育大学だけです。奈良教育大学でESDを学び、一緒に持続可能な社会の実現を目指しましょう。

ESD連続セミナー

ESD演習・春日山原始林フィールドワーク

フレンドシップ事業

教員をめざす学生のために、いろいろな活動を通して実際に子どもたちとふれあい、実践的指導力の基礎を身につけることを目的とした教育プログラムを実施しています。

書道を楽しもう

飛行コンテスト

キッズ・サウンドラボ・アートプロジェクト

Message

プログラム受講学生からのメッセージ

理科教育専修４回生
大門 将弥さん
（奈良県立橿原高等学校 普通科出身）

「SST養成プログラム～実践的な理数教育～」

私は、理科の本質的な魅力を伝えられる教員になることを目指して本プログラムに参加しました。そこで、本プログラムに参加して良かったことを紹介したいと思います。このプログラムの利点は、何よりも自分の教科（理科）の魅力を深く知れる機会が数多く用意されていることだと思います。どうしても理科や数学と聞くと、語句や公式の暗記をするといったイメージがあるかもしれませんが、このSST養成プログラムでは、日常生活の中に潜む疑問と学習内容を関連付けて授業をつくる力を養うことができます。これを読んでくれている皆さんは、地球に磁場がある理由や、世界一高い木が約110mまでしか成長できない理由を知っていますか?日常の何気ない疑問を、科学の力で解決できた時、児童・生徒はその学習に魅力を感じられると思います。

また、連携している小・中学校に出向いて、自分たちで考えた授業をすることができるので、実践的な力をつけたい人には、強く勧めたいプログラムです。

取得できる免許状・資格

1.教員免許状

所属する専修・履修分野ごとの卒業要件単位を修得することによって、下表の教員免許状(●主免許)を必ず取得します。また、主免許以外の教員免許状(■、◆副免許)の取得を希望する場合は、所要の単位を追加修得することによって、副免許を取得することが可能です。

ただし、授業時間割上の制約や教育実習校の確保状況等によって、希望する副免許の取得を保証するものではありません。

なお、下表のほか、副免許としては、養護教諭一種、高等学校一種(情報)があり、これらも所要の単位修得と履修要件を満たすことで取得することが可能です。

2.各種資格

卒業要件単位以外に各資格についての所要単位を追加修得することで、取得可能です。社会教育主事、学校図書館司書教諭、保育士(学校教育教員養成課程 教育発達専攻 幼年教育専修に限り適用)、学芸員、スポーツ指導者、認定心理士(学校教育教員養成課程 教育発達専攻 心理学専修に限り適用)、教育支援人材(こどもパートナー・こどもサポーター(学校活動支援)・こどもサポーター(バルシューレ)・こどもサポーター(ESD)・こどもサポーター(ICT活用))の資格を取得するための単位を修得することができます。

ただし、授業時間割上の制約や履修人数制限等によって、希望する資格の取得を保証するものではありません。

課程	専攻	専修	履修分野	幼稚園一種	小学校一種	中学校一種										高等学校一種												特別支援学校一種※4
						国語	社会	数学	理科	音楽	美術	保健体育	家庭	技術	英語	国語	地理歴史	公民	数学	理科	音楽	美術	保健体育	家庭	工業	英語	書道	
学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修		■※1	●	■(各教科から選択)※1										◆(中学校一種と同教科)												
		心理学専修		■※1	●	■(各教科から選択)※1										◆(中学校一種と同教科)												
		幼年教育専修		●	■																							
		特別支援教育専修			●※2	●(各教科から選択)※2										◆(中学校一種と同教科)												●
	教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野		●	■										◆												
			中等教育履修分野		■	●										◆												
		社会科教育専修	初等教育履修分野		●		■										◆	◆										
			中等教育履修分野		■		●										◆	◆										
		数学教育専修	初等教育履修分野		●			■											◆									
			中等教育履修分野		■			●											◆									
		理科教育専修	初等教育履修分野		●				■											◆								
			中等教育履修分野		■				●											◆								
		音楽教育専修	初等教育履修分野		●					■											◆							
			中等教育履修分野		■					●											◆							
		美術教育専修	初等教育履修分野		●						■											◆						
			中等教育履修分野		■						●											◆						
		保健体育専修	初等教育履修分野		●							■											◆					
			中等教育履修分野		■							●											◆					
		家庭科教育専修	初等教育履修分野		●								■											◆				
			中等教育履修分野		■								●											◆				
		技術教育専修	中等教育履修分野		■									●											◆			
		英語教育専修	中等教育履修分野		■										●											◆		
	伝統文化教育専攻	書道教育専修				■										◆											●	
		文化遺産教育専修							●※3		●※3									■※3		■※3						

●…主免許:卒業要件として必ず取得する教員免許状
■…副免許1:所属専修・履修分野の授業科目に関連して取得しやすい免許状
◆…副免許2:主免許又は副免許1 で中学校一種を取得の場合、取得しやすい免許状

※1…中学校一種(各教科から選択)又は幼稚園一種　※2…小学校一種又は中学校一種を選択　※3…理科又は美術を選択(中学校一種と同教科)
※4…知的障害者に関する教育の領域、肢体不自由者に関する教育の領域、病弱者に関する教育の領域に限る

本学の学び

教育課程（カリキュラム）

本学の教育課程は、所属する専攻・専修・履修分野によって異なりますが、いずれの専攻・専修・履修分野の学生も卒業と同時に教育職員免許状（一種）を取得します。そのため、学生は、本学が定めている「新任教員に求められる資質能力目標に基づく教員養成のためのカリキュラム・フレームワーク」を通じて、各授業科目から何を学び、どのような資質能力を身につけたかを自覚しつつ、教員として必要な能力を身につけていきます。

全学生が履修する「共通科目」には、教養科目、外国語科目、日本国憲法、教員としてのICT活用能力の基礎を習得する情報機器の操作等があり、特に教養科目ではESD（持続可能な開発のための教育）を主題とした科目を必修とし、奈良の世界遺産・文化遺産を核としたESDの普及と「持続可能な社会の創り手」を育てることのできる教員養成に努めています。

このほか、学校現場の諸活動を体験することにより実践的指導力の基礎を培うことを目的とした科目や、子ども達の効果的な学習を促す板書力を修得するための科目等があり、中等教育履修分野では、各教科の学問的内容と教科性に基づいた授業構成を行うために必要な知識と技能を習得するための「複合科目」を開設しています。

入学後は、所属する専攻・専修・履修分野ごとに、取得予定の教育職員免許状の種別・教科に応じたカリキュラムを履修し、3回生では「教育実習」、4回生では、それまでの学習履歴を振り返り、教員としての資質能力が身についているかを確認し、不足している部分や課題があれば補完的な指導を行う「教職実践演習」を履修します。

また、4年間の学修結果の集約として、4回生で卒業論文を作成します。

なお、学生の幅広い学びに対応するため、理数に関する教科の専門性を強化するプログラムやESDティーチャーを養成する各種の特色プログラムを設けています。

履修方法

授業科目の履修は単位制で、本学では4年間に134単位以上（特別支援教育専修では136単位以上）を履修することが卒業の基本要件になっています。各授業科目の目的や内容、評価方法等をあらかじめWeb上のシラバスで確認し、履修登録を行います。なお、教室での講義や演習にあわせて準備や復習を充分行えるように1年間に履修登録することができる単位数の制限をしています。

各授業科目は、1週間に1回ずつの授業が前期、あるいは後期に15週以上行われます。授業時間は90分を1コマとし、15週間分の授業と試験によって単位を修得します。

なお、授業科目によっては夏季、冬季休業中に集中講義という形で連続して授業を行うものもあります。

授業時間は以下の通りです。

1・2時限	9時00分～10時30分
3・4時限	10時40分～12時10分
5・6時限	13時00分～14時30分
7・8時限	14時40分～16時10分
9・10時限	16時20分～17時50分

専攻紹介

質の高い教員を養成する3つの専攻

教育発達専攻

幼児・児童・生徒にとって、学校・園は生活の場です。学校での教育では、子ども一人ひとりの個性を理解することが必要です。この専攻は、学校の仕組みや教育の歴史に関する知識と、子どもの発達や個性を理解する能力を養成することに注目しています。専修は4つにわかれていますが、教育の歴史、学校という制度の仕組み、子どもの発達理解や教え方、幼年教育や特別な支援を必要とする子どもへの教育のあり方を中心として学びます。

教育学専修 ……10
心理学専修 ……12
幼年教育専修 ……14
特別支援教育専修 ……16

教科教育専攻

児童・生徒にとって、学校の授業はわかりやすく、おもしろいものでなくてはなりません。各教科の授業が良いものであれば、学校は楽しいものになります。この専攻は、教科に関する知識を豊富にし、授業をより楽しくする能力を養成することに注目しています。専攻には各教科に対応した専修がありますが、それぞれの教科独自の教材、教育方法を工夫し、教科を教える技術と、教科に関する知識を中心として学びます。

初等教育履修分野では、専修の専門科目以外に、小学校におけるすべての教科に関する科目、及びそれらの科目の授業法を幅広く学びます。中等教育履修分野では、専修の中学校教科に関する専門的知識を豊かにするとともに、教科の指導法を向上させるため、関連する科目を系統的に学んでいきます。

国語教育専修 初等教育履修分野・中等教育履修分野 ……18
社会科教育専修 初等教育履修分野・中等教育履修分野 …20
数学教育専修 初等教育履修分野・中等教育履修分野 ……22
理科教育専修 初等教育履修分野・中等教育履修分野 ……24
音楽教育専修 初等教育履修分野・中等教育履修分野 ……26
美術教育専修 初等教育履修分野・中等教育履修分野 ……28
保健体育専修 初等教育履修分野・中等教育履修分野 ……30
家庭科教育専修 初等教育履修分野・中等教育履修分野 …32
技術教育専修 中等教育履修分野 ……34
英語教育専修 中等教育履修分野 ……36

伝統文化教育専攻

児童・生徒は、地域の文化の中で育ち、多くのことを学びます。国際交流が盛んな現代において、地域や日本の文化を理解する能力は重要です。この専攻は、地域や日本の文化を取り入れた教育に注目しています。奈良は墨の生産地として有名ですが、書道は日本文化の象徴です。また、世界遺産に代表される文化財が豊富です。このような恵まれた環境を生かして、地域や日本の文化に関する知識と、それを生かした教育のあり方を学びます。

書道教育専修 ……38
文化遺産教育専修 ……40

教育
発達専攻

教育学専修

学校教育、社会教育、家庭教育という3つの柱をもとに、
生涯にわたる教育という営みを幅広く見渡せる教員を育てます。

学びのポイント

1 他人に変えられるのではなく、自ら変わるために

教育は子どもの人生に深く関わる営みです。子どもを変えるには、自らを変えなければなりません。そのための知識やスキル(技能)は、教育史や教育基礎(教育原理)の知見に基づいてこそ生きて働くものとなります。

2 広い視野から個別の教育実践を捉える

教育は、地域や学校に根ざして個別具体的に営まれています。同時に、教育は社会と結び付き、グローバルに動いています。教育社会学やカリキュラム論・教育方法学の観点を通して、客観的かつ自省的に子どもの実態や教育課題を捉えるとともに、具体的な教育実践の方法論を身につけます。

3 教育をシステムとして捉え、地域と連携する

教育は真空の中で行われるものではなく、教師の実践は教育システムと地域社会の現実の中で行われるものです。教育経営学や生涯学習論(社会教育学)を通して教育が受けている社会的制約を踏まえつつ、それを乗り越える知恵を修得します。

学びの領域

教育をその根本まで掘り下げて学ぶ5つの領域

子どもの発達と教育の関係や、国家・社会と教育の関係を踏まえ、それらの知見を教育の目標・内容・方法に生かせるような教育実践のあり方を科学的に探求し、学びます。

教育学専修の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限		教育哲学・思想演習	教育史特講	教育実習・事前指導		重複障害教育の理論と実際
3・4時限		初等教科実践指導		教育実習・事前指導	生涯教育演習	視覚障害児の教育Ⅰ
5・6時限	保育内容の指導法(言葉)	発達障害の理解と対応		教育課程演習		
7・8時限	教育方法学演習					
9・10時限				教育人権アプローチ特講		

教育課程演習
文献の講読や実践例の分析を通して、カリキュラムの基礎理論とその具体例を学びます。

教育方法学演習
教室環境整備と授業研究に関する演習を通して、教育実践に関する実践的知識と方法を学びます。

教育史特講
地域学習を事例に教育の歴史を学び、奈良の豊かな文化財を用いた授業づくりとフィールドワークに取り組んで、理論と実践の往還を考えます。

Student's Voice 在学生の声

「主体的な学びと自己実現への可能性」

教育学専修3回生
北吉 迅人さん
(和歌山県立橋本高等学校出身)

教育学専修ではあらゆる観点から「教育」そのものについて見地を深め、教育全体を見渡すからこそより広範で深みのある学びが可能です。特に専修の専門的な授業は主体的な活動が多く、自身の過去の経験と大学での学びを照らし合わせることで生きて働く知識が得られます。

また、教育学専修は副免許や資格の選択肢が広いことも利点です。私は小学校の免許に加えて、中高の英語の免許とESDティーチャーの資格を取ろうと頑張っています。ボランティア活動やアルバイトとも両立し、忙しくも充実した日々を送っています。長いようで限られた4年間は人生において大変貴重な時間です。教育について幅広く学びたい、様々なことにチャレンジしたい、そう考える諸君は、いざ教育学専修へ!

主な開講科目
教育史特講・演習／教育哲学・思想特講・演習／教育社会学特講・演習／教育経営学特講・演習／教育方法学特講・演習／教育課程特講・演習／生涯教育計画特講Ⅰ／生涯教育演習／教育人権アプローチ特講・演習／生涯教育史特講／校外学習指導特講／生涯教育政策特講

取得できる免許状
小学校教諭一種 等(P6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路
本専修の卒業生の多数が、学校の先生になっています。主に、小学校の教員ですが、中学校、高等学校や特別支援学校の教員になる人もいます。

教員および専門分野(令和3年5月1日現在)
- 板橋 孝幸教授／教育史、郷土教育
  近・現代の郷土教育実践に関する研究
- 粕谷 圭佑准教授／教育社会学、相互行為論
  子どもの社会化、教育場面の相互行為に関する研究
- 片岡 弘勝教授／生涯学習、社会教育
  地域づくりと生涯学習・社会教育の関連に関する研究
- 橋崎 頼子准教授／カリキュラム論、市民性教育
  市民性教育のカリキュラム構成原理に関する研究
- 赤沢 早人教授／教育方法学、教育課程論
  教育課程および教育方法に関する研究
- 浅井 健介特任講師／教育哲学、教育思想史
  W.ベンヤミンを手がかりにした教育思想研究
- 山中 矢展特任講師／教育経営学、特別支援教育
  ミドルアップダウン型の学校組織論、ミドルリーダーの育成、インクルーシブ教育システムの推進
- 生田 周二特任教授／人権教育、社会教育
  人権教育、子ども・若者支援の社会教育的研究

教育
発達専攻

心理学専修

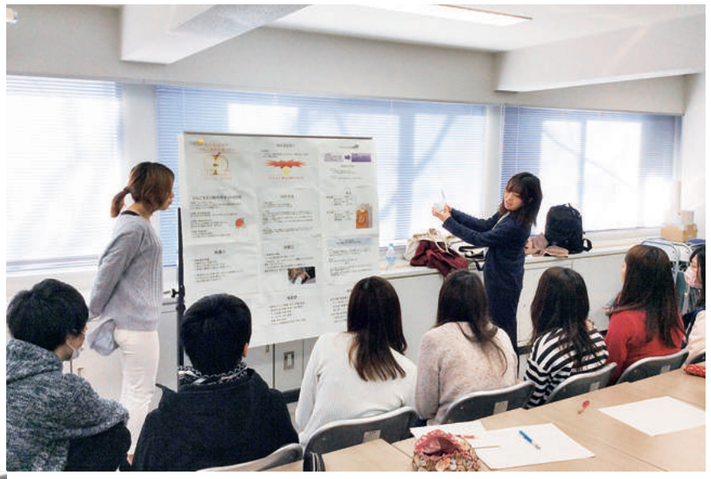
子どもたちの心理的な特徴を考慮して、
児童・生徒の成長を促すことができる教員を養成します。

心理学専修
ホームページ

学びのポイント

1
様々な心理学に関する科目を通して、児童・生徒の心理的特徴に関する知識を学ぶ

児童期・青年期の心理的な特徴を理解した上で、教員は子どもに接する必要があります。多様な領域の心理学を学習し、児童・生徒への実践的な対応能力の土台を形成します。



2
心理学検査、心理学実験等の科目を通して、個人差理解の姿勢を学ぶ

教員は、個々の子どもたちの特徴を知る必要があります。豊富な実験や演習の授業を通して、個人差を理解するための姿勢を育成します。

3
心理学研究法等の科目を通して、心理を客観的に把握する技能を学ぶ

子どもの心理は、客観的に理解できるようにしなければなりません。統計的な分析、人の行動を捉える方法を学ぶことを通して、心理を客観的にとらえる姿勢を習得します。

学びの領域

心理学を背景とした学びの領域

教育、発達、社会、臨床という4領域の学びによって、児童・生徒への実践的な対応能力の土台が形成され、心理学的視点を背景とした指導力が生まれてきます。

心理学専修の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	認知発達特講			教育実習事前指導		視覚障害児の教育Ⅰ
3・4時限	学校教育相談特講	初等教科実践指導		教育実習事前指導		重複障害教育の理論と実際
5・6時限		心理学研究法				
7・8時限	肢体不自由教育方法				知的障害の医学	
9・10時限				教育臨床心理学特講		

心理学研究法
心理統計の基礎知識及びデータ分析の専門的スキルを学習します。そのために、個々にパソコンを使用し、データに対するソフト適用の方法を実習します。

教育臨床心理学特講
心の健康や、子どもと教師の対人関係などについて学びます。そして、教育に関する問題に対して、多様な視点から考察する力を身につけます。

認知発達特講
専門書の講読を通して、認知発達に関する心理学の視点や知見を理解し、その理解に基づいて教育や発達支援について考えます。

Student's Voice　在学生の声

「心理学の面白さ」

心理学専修4回生
白銀 美智子さん
（奈良県立
畝傍高等学校出身）

Q.ナミは31歳独身で、はっきりものの言える非常に賢い女性である。彼女は、大学時代、差別や社会的公正の問題に関心があり、ユニセフ募金活動に参加していたこともある。現在、ナミが以下の①②のいずれかだとすると、どちらの可能性の方が高いと思いますか？　①鹿仏総合病院の内科医であり、反核運動の参加者でもある、②鹿仏総合病院の内科医である

〈解説〉①と答えたあなた！　ファイナルアンサー？　この問題のミソは、①には、「鹿仏総合病院の内科医」に加えて「反核運動の参加者」という2つ目の条件が足されているという点。条件が増えれば、ナミがそれである確率は下がっていく。ですが、この実験を実際に行うと、②よりも①と回答する人の方が多くなるんです！　ナミに関する記述と自身の経験から①だと推測するからです。

心理学を学ぶと、新たな視点が得られ、きっと世界が今までとは違って見えます！　ぜひ、心理学専修へ!!

主な開講科目
心理学概論／心理学検査Ⅰ・Ⅱ／教育心理学特講・演習
認知発達特講／認知発達演習／教育臨床心理学特講・演習
人間環境心理学／心理学実験／心理学研究法

取得できる免許状
小学校教諭一種 等（P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照）

卒業後の主な進路
教員、公務員、企業が主な進路です。過去3年間では、教員になった卒業生の半数以上が全国の公立小学校に勤務しています。その他、大学院に進んで心理学の専門職（心理判定員等）をめざす卒業生もいます。

教員および専門分野（令和3年5月1日現在）
- 出口 拓彦教授／教育社会心理学
  対人関係、規範意識、適応、学級集団等に関する研究
- 中山 留美子准教授／発達心理学
  人格・自己の発達に関する調査的研究
- 石井 僚准教授／教育臨床心理学
  青年期の学習場面を中心とした適応に関する研究
- 市来 百合子教授／臨床心理学
  心理臨床における非言語的なアプローチに関する研究
- 堀 麻佑子特任准教授／学習心理学
  子どもの認知発達・学習に関する実験的研究

教育
発達専攻

幼年教育専修

誕生から、乳幼児、児童期にわたる子どもの発達を見通せる
教育（保育）のプロを育てます。

学びのポイント

1 幼稚園教諭に加え、保育士、小学校教諭の免許・資格の取得をめざす

幼稚園・保育所・小学校といった種別を越えて、幼年期の子どもの発達と教育(保育)を長いスパンから捉え支える保育者や教師をめざします。とくに、幼稚園と保育所の一体化施設である認定こども園が増えつつある今日、0歳からの子どもに対応できる力の育成をめざします。

2 からだとこころを動かし、理論と実践を学ぶ

保育者・教師は、自分の思いや知識・技術などを子どもたちに伝える仕事です。そのため、「聞く・見る」といった講義形式の授業だけでなく、「語る・歌う」など、演習・実習形式の授業によって、身体を使って表現し、学びを伝える経験を重ねます。

3 学外で実践を深め、地域とつながる

奈良市内の幼稚園で保育の補助を行う「スクールサポート」、絵本をもって近隣の保育園や小学校に出かけ、子どもたちと絵本をよみあう「出張えほんのひろば」など、学内で学んだことを実践する場が、学外にも開かれています。

学びの領域

子どもを知り、保育のあり方を学ぶ4つの領域

右図の4つの領域から、就学前期の子どもの発達と教育(保育)を総合的に捉え、小学校教育との接続を意識した教育内容を編成する視点を養います。

幼年教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	初等教科教育法(社会科)	小学校音楽Ⅰ	小学校生活	教育実習・事前指導		子ども文化論
3・4時限	生徒指導・キャリア教育	初等教科教育法(国語)		教育実習・事前指導		
5・6時限	障害児保育	保育内容総論		幼年心理学特講		
7・8時限	小学校理科			社会的養護内容		
9・10時限						

幼年心理学特講
乳幼児の他者理解などについて、心理学的な学びを深めます。実習でふれあった子どもの姿と重ねあわせて議論し、子どもを理解するための視点を培います。

保育内容総論
保育の歴史と現在についてグループワークや幼稚園観察などを通して理解を深め、私たちがめざすべきこれからの保育のあり方について考えます。

子ども文化論
子どもの遊びを豊かにするために必要な知識や技術を、実際に玩具や人形を作って遊んだり演じたりしながら、習得することをめざします。

Student's Voice 在学生の声

「保育者になるための実践的な学びと学生生活の両立ができます！」

幼年教育専修3回生
東川 美緒さん
(奈良県立平城高等学校出身)

奈良教育大学のキャンパス内には、奈良教育大学附属幼稚園があり、近隣には多くの保育園やこども園があります。そのため、乳幼児期の子どもの発達や保育について、授業を通して学び、その様子を実際に観察することによって実践に活かすことができます。実習は、2回生の保育実習と施設実習、3回生の教育実習があり、多くの経験を積むことができます。

また、少人数制のため、学生のみならず教員との距離も近く、普段の授業や実習のことだけでなく、日常生活についても相談に乗ってくださいます。

私は、幼稚園教諭一種の免許、保育士資格、小学校教諭一種の免許の取得を目指しながら、部活動やアルバイトなどの学生生活と両立させています。保育者になりたい、充実した大学生活を送りたいという方は、幼年教育専修で一緒に学びましょう！

主な開講科目
教育・保育とカリキュラム／社会福祉論／子どもの食と栄養
幼児理解(教育(保育)相談を含む。)／子どもと言葉／社会的養護内容
保育内容研究／子ども文化論／子ども家庭支援論
幼年教育総合研究／子育て支援／保育者論

取得できる免許状
・幼稚園教諭一種　・保育士 等(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路
幼稚園・保育所や認定こども園に採用されています。その他、小学校教諭・学童指導員など、幅広い場で活躍しています。いずれも大半が公立機関(公務員)です。

教員および専門分野(令和3年5月1日現在)
・横山 真貴子教授／保育内容
子どもの絵本とのかかわりや読み書き能力の発達についての研究
・廣瀬 聡弥教授／幼年教育学
子どもの遊び、保育者の育ちについての研究
・大西 賢治准教授／幼年心理学
子どもの心やさしさや、道徳性についての研究
・岩本 華子特任講師／児童福祉論
女性や母子支援におけるソーシャルワークに関する研究
・残華 雅子特任助教／教育・保育実習
子どもの世界の見方・捉え方についての研究

教育
発達専攻

特別支援教育専修

障害や発達上の困難をもちながら生きる子どもと
家族によりそい、そのねがいに応える教育者に。

学びのポイント

1 発達と障害をとらえ、子どものねがいにせまる

障害などをもつ子どもは、私たちと異なる特殊・異質な存在ではなく、私たちと共通の人間的なねがいをもちながら、その実現のために特別な支援を必要としている存在です。そのねがいにせまるために、子どもの発達と障害を的確に捉える眼と、子どものねがいに応える教育実践を構想する力量を培います。

2 教育や発達支援の実践に学び、実践を創る

障害児教育現場への観察・参加や教育実習、教育・発達支援の現場に出向いての卒業研究など、現場に出向き、そこでの実践に参加する中での学びを重視しています。ボランティア活動や研修旅行など正規の課程外での現場体験も、学生諸君の創意を生かしつつ、広くとりくまれています。

3 幼児期から学校卒業後までを見通した一貫性のある教育支援の探求

本専修では、基礎免許状としての小学校または中学校の免許状と特別支援学校免許状を取得するほか、幼稚園免許、養護教諭免許などを取得する人もいます。こうした多彩な学びは、幼児期から学校卒業後までを見通した専門的な支援者を養成することにつながっています。

学びの領域

子どものねがいにせまる教育実践者のための4つの学びの領域

障害と発達を科学的にとらえるための最新の知見を学ぶ医学や心理学と、障害のある子どものねがいにせまる教育実践を創造していくための教育学、教育方法学。子どもの事実、教育実践の事実を軸に、4つの領域を関連させながら、総合的に学べるカリキュラムです。

特別支援教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限				教育実習・事前指導	
3・4時限	特別支援教育の行政と制度	初等教科実践指導		教育実習・事前指導	
5・6時限		発達障害の理解と対応		障害児教育学演習	
7・8時限	肢体不自由教育方法	障害児医学演習			
9・10時限		発達障害と心理検査			

特別支援教育の行政と制度
障害のある子どもの学校教育を基礎づける法令制度とその近年の変遷について資料をもとに学びを深めます。

障害児教育学演習
障害のある子ども・青年の教育と発達をめぐる諸課題について、教育学の観点から問題を設定し、研究的にアプローチする方法などを学びます。

Student's Voice 在学生の声

「子どもたちがきらきらと輝くために」

特別支援教育専修4回生
伊藤 あやめさん
（天理高等学校出身）

特別支援教育専修は、学年を超えたつながりがあり、先生方との距離も近く温かい雰囲気が魅力の専修です。講義では、「発達に関すること」や「障害とは何か」といった根本的なところから学びます。学んだ内容をボランティア活動などで実践します。子どもたちと関わる中で、コミュニケーションがうまく取れなかったり、子どものよさを生かせなかったりと悩むこともあります。そんなときは、先生方や同じ専修の仲間に相談して、子どもたちがより生き生きと輝くための方法を一緒に考えます。試行錯誤する中で、子どもが活躍したり、楽しそうにしたりする変化があったときには、とてもやりがいを感じます。子どもたち一人一人に寄り添い、子どもたちがきらきらと輝けるような支援を特別支援教育専修の仲間たちと見つけていきませんか。

主な開講科目
特別支援教育原論／重複障害教育の理論と実際／特別支援教育論
発達障害の心理学／知的障害の医学／肢体不自由教育方法／発達障害と心理検査
知的障害教育方法／障害児教育学演習／知的障害指導法実習
発達障害の理解と対応／障害児教育実践学演習

取得できる免許状
・特別支援学校教諭一種（知的障害・肢体不自由・病弱）
・小学校教諭一種または中学校教諭一種（教科は選択できます。）等
（P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照）

卒業後の主な進路
小学校および特別支援学校の教諭が過半数です。他に養護教諭や中学校教諭、児童福祉・障害者福祉分野への就職、大学院に進学する人もいます。

教員および専門分野（令和3年5月1日現在）
・木下 理恵特任教授／特別支援学校・学級経営論
児童生徒のニーズに応える特別支援学校力と教師力の向上
・越野 和之教授／障害児教育学
発達障害児・者の人格発達と社会的環境・教育
・全 有耳教授／障害児医学・小児保健
発達障害児と家族支援、子どものメンタルヘルスと予防的アプローチ
・富井 奈菜実専任講師／発達心理学
発達の質的転換期とその診断法
・中西 陽特任准教授／障害児心理学
自閉スペクトラム症児のソーシャルスキルとメンタルヘルス
・堀田 千絵准教授／障害児教育方法学・認知発達心理学
発達障害児者のメタ認知を促す学習支援法の構築

教科
教育専攻

国語教育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

日本語による豊かな言語文化を背景に、
児童・生徒の日本語運用能力を高めることのできる教師を育てます。

学びのポイント

1 発達段階に応じた日本語運用力の育成

国語教育専修では小学校教諭一種免許と中学校教諭一種免許(国語)、加えて必要単位を履修すれば、高等学校一種免許(国語)を取得できます。

成長とともに大きく変化する子どもたちの国語力に対応しながら、無限の可能性を秘めた子どもたちの国語力を最大限に引き出せる教師を目指します。

2 少人数・実践重視の授業

授業では個人やグループでの発表を多く取り入れ、活発な議論が行われます。少人数であるため自然と発言・発表の機会が増え、教員からもきめ細かな指導を受けることができます。また、地元奈良や周辺のフィールドを生かした学外での研修も積極的に行っています。

3 先輩達との交流の場・国文学会

国語教育専修は、教員、学生、大学院生そして卒業生とが一体となって奈良教育大学国文学会を組織し、研究発表会の開催、機関誌『国文―研究と教育』の刊行を行っています。現場に出た卒業生の研究発表や教育実践報告も行われ、先輩から直接に学ぶことができます。何より人間的なつながりを大切にしています。

国語教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	初等教科教育法（社会）			教育実習事前指導		国語科教育学特講
3・4時限	書道（書写を中心とする）		漢文学演習Ⅰ	教育実習事前指導		
5・6時限		日本語学研究Ⅰ		中等教科教育法Ⅲ（国語）	生徒指導（進路指導を含む）・教育相談ⅡB	
7・8時限				近代文学研究		
9・10時限	国語科教育学研究Ⅱ			ゼミ		

日本語学研究Ⅰ
日本語学の基礎について学び、国語科教材の作成について考えることができます。

国語科教育学研究Ⅰ
国語科教育の内容や方法を学び、今日の国語科教育における教材開発の観点や方法について考える授業です。

国語科教育学演習Ⅰ
国語科教育の基礎理論を学び、卒業論文に必要な研究発表能力を身につけるゼミ形式の授業です。

中等教科教育法Ⅰ（国語）
中学校の国語科教員として求められる基礎的知識や技能を学ぶ授業です。

Student's Voice 在学生の声

「近いからこそ学びも密になる」

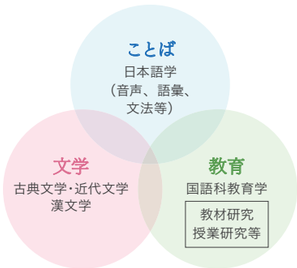
国語教育専修4回生
西田 朱音さん
（福岡県立筑紫丘高等学校出身）

国語教育専修では、国語科教育に関することはもちろん、漢文学・近代文学・古典文学・日本語学といった専門的な分野についても学習することができます。3回生以降はそれぞれの興味のある分野の研究室に所属して学習・研究をしていきます。他大に比べて学生数が少ないため、先生方との距離が近く一人一人に丁寧に指導をしていただけるのは奈良教育大学の良いところです。また指導だけでなく相談にも乗ってくださるので、安心して学生生活を送ることができます。学生間においても、国語教育専修は特に先輩・後輩とのつながりが強く、私自身相談したり相談に乗ったりしています。是非私たちと一緒に充実したキャンパスライフを送りましょう。

学びの領域

日本語を教える プロになる上で学ぶ 3つの領域

ことば・文学・教育の3領域から構成されるカリキュラム。2年までに各領域の基礎を学び、3年以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学びを深め、その成果を卒業論文にまとめます。



主な開講科目
初等教科教育法(国語)／日本文学概説Ⅱ／日本語学概説Ⅱ／日本文学史Ⅰ
中等教科教育法Ⅱ(国語)／近代文学研究／漢文学研究／古典文学演習Ⅰ
国語科教育学演習Ⅱ／国語(書写を含む。)／近代文学演習Ⅰ／日本語学研究Ⅰ

取得できる免許状
・〔初等教育履修分野〕小学校教諭一種 等
・〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種(国語) 等
(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路
昨年度は卒業生のうち80%以上が、小学校、中学校、高等学校の教員として就職しています。その他の進路は、一般企業への就職、大学院進学などがあります。

教員および専門分野(令和3年5月1日現在)
・棚橋 尚子教授／国語科教育
漢字指導論・「読むこと」の教育にかかわる研究
・米田 猛特任准教授／国語科教育
表現指導論・語彙指導論・言語文化指導論に関する研究
・前田 広幸教授／日本語学
日本語の音声・音韻の歴史的推移や地域的変異についての研究
・有馬 義貴准教授／古典文学
「源氏物語」などの物語文学・古典教育の研究
・日高 佳紀教授／近代文学
日本の近代文学をめぐる雑誌・新聞等メディアや読者の研究
・橋本 昭典教授／漢文学
孔子、老子、荘子など諸子百家を中心とする中国古代思想の研究

教科
教育専攻

社会科教育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

人間と社会のあり方を総合的に学ぶことを通して、
広い視野と深い洞察力を身につけた教員を育成します。

学びのポイント

1 社会認識力と実践的教育力を育成

社会科教員には社会についての幅広い認識と、それを児童・生徒に伝え、よりよい社会についてともに考えていく実践力が不可欠です。文献・各種資料(史料)、奈良県の豊かな自然と歴史環境を活かしたフィールドワーク、闊達な議論を通して、理論と実践の両面から、社会認識力と実践的教育力を培います。

2 小学校教諭、中学校教諭、高等学校教諭の免許取得が可能

小学校、中学校(社会)、高等学校(地理歴史・公民)の免許を取得することができます。

小学校教員でも高い専門性に裏付けられた教科指導力はつよみです。

3 少人数教育によるきめ細かな指導

ゼミでの学びと卒業論文研究では、少人数ならではの懇切な指導と深い学びが可能です。

ゼミでは専門分野の文献講読などを通じて、それぞれの分野の研究の成果と方法を学び、それを活かして自分の選んだテーマについて深く掘り下げ、卒業論文をまとめます。

学びの領域

社会を学び、社会を教えることを学ぶ

社会科を構成する広範な諸学問を通じて人間と社会について学び、その成果を次世代に伝えるための社会科教育学を学ぶことで、多領域にわたる社会科教育に対応できる教員としての資質を養います。

社会科教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限	初等教科教育法(社会)	政治学		教育実習事前・事後指導	
3・4時限		社会学		教育実習事前・事後指導	西洋史
5・6時限	経済学・社会学研究Ⅰ			中等教科教育法Ⅲ(社会・地歴)	
7・8時限		発達障害の理解と対応			倫理学
9・10時限					

地理学概論

地図で地域の変化を見たり、ハザードマップの読み方を学んだりします。写真は「被災地としての神戸に学ぶフィールドワーク」。また、学生が作った地理学習動画を大学のYouTubeチャンネルで公開しています。

フィールドワークで地域に学ぶ

食と農、伝統音楽、野生動物、廃村、インバウンド観光、地域の教育力などのテーマを持ち、五感で地域に学ぶ教養科目です。

大学の学び入門・専修基礎ゼミ

1年次に、大学での学びに必要な力を伸ばします。写真は、奈良の伝統文化の大事な要素である工芸をテーマに、作家さんや博物館などとの連携で、子ども向け展示をおこなった時のものです。

Student's Voice 在学生の声

「社会科を通して教師としても成長」

社会科教育専修4回生
平田 杏奈さん
(奈良県立奈良北高等学校出身)

社会科教育専修では、地理学・歴史学・法学・社会学・哲学など様々な学問を通して、自分の興味を深めることはもちろん、高校までに勉強したことのない分野や視点を学ぶことができます。

また、教科の内容をどのように子どもたちに伝えるのか、といった授業づくりの視点や方法についても学べるため、教師としての大切なスキルを身に付けることもできます。

奈良教育大学には、身近に文化遺産など社会科の教員として利用できる教材がたくさんあるため、社会科の教師としてのスキルを高める環境もとても良いと思います。奈良教育大学で、より実践的で深い学びと充実した大学生活を送りませんか。

主な開講科目

日本史概説Ⅰ・Ⅱ／地理学概論／地誌学概論／社会学概論／政治学／経済学／西洋史／法学／社会科教育研究Ⅰ～Ⅳ／日本史研究Ⅰ～Ⅳ／西洋史研究Ⅰ～Ⅳ／地理学研究Ⅰ～Ⅳ／法学・政治学研究Ⅰ～Ⅳ／社会学・経済学研究Ⅰ～Ⅳ／哲学概論／倫理学概論／哲学・倫理学研究Ⅰ～Ⅳ

取得できる免許状

- 〔初等教育履修分野〕小学校教諭一種 等
- 〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種(社会) 等

(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路

年度によって若干のばらつきがありますが、小・中・高の教員が70%、企業・公務員が20%、大学院進学が10%となっています。

教員および専門分野(令和3年5月1日現在)

- 根田 克彦教授／地誌学
  アメリカとイギリスの都市
- 河本 大地准教授／地理学
  農山村地域研究(日本、スリランカなど)、観光、地域づくり、ESD
- 今 正秀教授／日本史学
  平安時代政治史を中心とする古代・中世史
- 西田 慎教授／西洋史学
  ドイツ現代史(特に戦後史)、ドイツ政治史
- 梶尾 悠史准教授／哲学・倫理学
  西洋哲学、特にE.フッサールの現象学
- 太田 満准教授／社会科教育
  社会科教育、国際理解教育
- 森 伸宏特任教授／経済学
  金融論産業組織論
- 渡邉 伸一教授／社会学
  社会問題の社会学的研究
- 奥田 喜道准教授／法学
  スイス憲法を中心とする比較憲法学
- 森口 洋一特任講師／社会科教育学、歴史教育研究、教材論

教科
教育専攻

数学教育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

深い数学の背景を踏まえた、算数・数学に関する指導力に優れる人間性豊かな教員を養成することを目指します。

学びのポイント

1 数学の内容とともに、その指導法を学びます

数学は一般には難解な教科と思われがちですが、自然現象や社会現象のいろいろな法則を知るために欠かせない教科で、日常や社会生活に必要な学びがあり、理解できればこんなに楽しく明快なものはありません。

数学教育専修では、大学4年間で人類が培ってきた数学の体系の一端に触れるとともに、数学の内容及びその指導法について学びます。学習を通して、数学的な見方や考え方を身に付け、教育についての自らの理想を高め、指導力に優れた教員を目指しましょう。

2 常に考える姿勢で取り組みます

数学教育専修を希望する学生には、数学を含め、いろいろな分野に興味・関心を持ち、客観的に物事を捉えることができる能力を備えていること、また、他人のよさがわかる豊かな人間性を備えていることを希望します。昨今、学力低下が叫ばれていますが、まず学校の先生が自ら学ぶ姿勢を児童・生徒に示していくことが大切です。数学を理解するには、何度もチャレンジする姿勢が必要です。常に考え続ける姿勢で取り組みましょう。

3 数学研究会（学生の組織）

学生の組織として、数学教育講座には数学研究会があります。主な活動としては、半世紀以上にわたり続けてきた夏の算数・数学教室があります。カリキュラム外の活動ですが、活動を通して算数・数学を学ぶことのよさを共有し合うとともに、一つの目的に向かって計画的・組織的に教育活動を展開していくことの大切さを学びます。

学びの領域

各分野をバランスよく学びます

算数・数学の内容を通して児童生徒を育てていく数学教育、文字や記号を使って数の関係や性質を学ぶ代数学、物の形や大きさ・位置など空間に関する性質を研究する幾何学、高校で学んだ微分や積分をさらに進める解析学、数学の世界にコンピュータを活用するプログラミング、確率・統計をさらに深める分野などがあります。

主な開講科目

線形代数／微分積分
数理プログラミング
情報数理基礎
数理統計Ⅰ／図形と位相
初等教科教育法（算数）
算数・数学教育実践演習Ⅰ・Ⅱ
中等教科教育法Ⅲ・Ⅳ（数学）
算数・数学教育実践演習Ⅲ・Ⅳ
フーリエ解析
コンピュータと数学

数学教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【2回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限		初等教科教育法（生活）				図形と位相
3・4時限		情報数理基礎	初等教科教育法（理科）		外国語コミュニケーション（仏語）A	新理数教育Ⅰ
5・6時限	教育方法論★（教育方法・メディアA）	初等教科教育法（国語）			初等教科教育法（算数）	
7・8時限		初等教科教育法（社会）		体育実技Ⅱ	解析基礎	
9・10時限	代数基礎			数理統計Ⅰ		

算数・数学教育実践演習Ⅰ
先輩方、先生と一緒に数学または数学教育について学びます。様々な考えを交流でき、とても深い学びができます。

中等教科教育法Ⅳ（数学）
学生同士で、中学数学または高校数学の一部の模擬授業を行い、授業研究をします。授業をする際はもちろん、他の学生の模擬授業を見て学ぶこともできます。

在学生の声

Student's Voice

「本当の数学を学び、考え、そして伝える」

数学教育専修4回生
林 霞月さん
（大阪府立香里丘高等学校出身）

数学教育専修ではこれまでの数学の学びをさらに深く、専門的なものにしていきます。高校までの数学に比べると論証が多くなり、より正確な数学を学びます。より深く数学を学ぶことは、自分の数学の能力を伸ばすだけでなく、人に正しく数学を教えられる事にも繋がります。

また、数学の知識を蓄えるだけでなく、人に教える場も多く設けられています。本専修では年に1度「算数・数学教室」を学生が主体となって開催しています。これは地域の小中学生に自分達で考えた授業を行うというもので、企画や運営の全てを学生が行います。これは他の専修にはない取り組みであり、数学を人に教える力を培うことができます。

自分の力を伸ばすと同時に、人を伸ばすことを学ぶこの場所で、教師を目指してみませんか。

取得できる免許状

・〔初等教育履修分野〕小学校教諭一種 等
・〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種（数学） 等
（P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照）

卒業後の主な進路

中学校・高等学校教諭（数学）と小学校教諭が主な進路です。常勤講師、非常勤講師も合わせると、教員志望卒業生のほぼ100%が、各都道府県の公立・私立の教員となり、現在活躍しています。本学には大学院があり、学部卒業生も進学しています。そこでは、高度な専門職としての教員を目指して、学部の教育内容をさらに推し進め、自分のテーマを持って研究してゆくことになります。

教員および専門分野（令和3年5月1日現在）

・伊藤 直治教授／応用数学
応用数理学・数理工学
システム制御理論の研究
・川﨑 謙一郎教授／代数
可換代数学 ベクトル空間の拡張である加群の構造に関する研究
・近藤 裕教授／数学科教育
数学教育学 算数・数学の授業改善に関する研究
・高木 祥司教授／確率・統計
数理統計学 推定・検定における漸近最適性理論の研究
・高橋 亮准教授／解析
偏微分方程式論 特異性が発現する偏微分方程式に関する研究
・舟橋 友香准教授／数学科教育
数学教育学 算数・数学科授業に関する国際比較研究

教科
教育専攻

理科教育専修

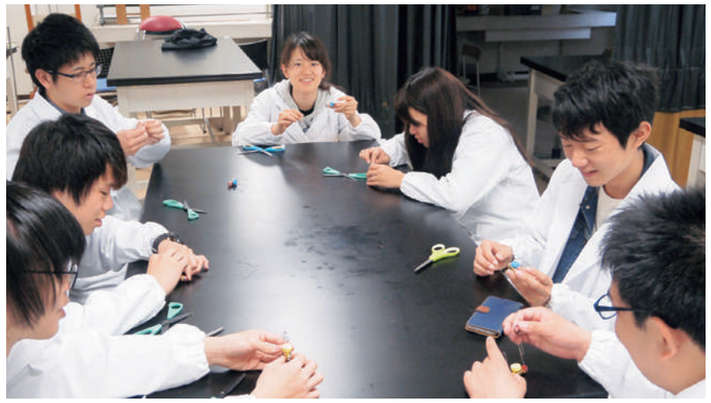
初等教育履修分野／中等教育履修分野

身の回りの自然や自然現象を深く学び、自然科学と教育についての幅広い教養と高い専門性を身につけた教育のプロを育てます。

学びのポイント

1 幅広い教養と高い専門性を身につける

身の回りの様々な自然や自然現象を理解するための自然科学と、それを子ども達に教える理科教育学について、学問としての高い専門性と幅広い教養を学ぶことができます。


コイルモーターを作成してコツを習得し、実践の授業にも役立てます

2 あたまとからだを動かし、理論と実践を学ぶ

講義、実習・実験、演習という3つの授業形式によって、「あたま」と「からだ」を動かして学びます。

3 教育現場と連携して実践能力を高め、資質を磨く

「新理数プログラム」や「サイエンス・パートナーシップ・プログラム」で連携する小学校・中学校・高等学校での教育活動への参加など、実践的指導力を高める多様な機会が用意されています。

学びの領域

自然科学の奥深さを知り、教師のあり方を学ぶ2つの領域

自然科学に対する豊かな知識をふまえて、子供の発達段階と教育を総合的にとらえ、小学校・中学校・高校の教育を見通して理科を教える視点を養います。

理科教育学
自然科学教育のあり方を学ぶ

自然科学
学問の奥深さを体験する

ナマコ、ウニ…、海産動物の多様性を体感します。

理科教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【2回生後期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	地質学	中等教科教育法Ⅰ（理科）	中等教科教育法Ⅱ（理科）	気象学	熱とエネルギー	無機分析化学実験
3・4時限	外国語コミュニケーション	人権と教育				動物生態学
5・6時限		カリキュラム論		教育相談・進路指導	電磁気学	学校図書館メディアの構成
7・8時限				物理学実験	読書と豊かな人間性	
9・10時限				物理学実験		

初等教科教育法（理科）
小学校理科授業に必要な実験・観察や発問等を学ぶ授業です。物理・化学・生物・地学の専門の教員によるきめ細かな指導が行われます。

野外実習
森林の生態、昆虫、岩石、河川、天体などについて野外で学びます。テント泊で自炊します。

Student's Voice 在学生の声

「多種多様な講義・実験・実習から深い学びを、教える力を身につける」

理科教育専修3回生
岩阪 太一さん
（奈良県立五條高等学校出身）

理科教育専修ではこれまで中学、高校で学んできた内容を基礎として今度は教える立場としての指導スキルを踏まえてさらに専門的な科学を学んでいます。また野外実習や臨海実習など様々な活動があり、ともに教員を目指す友達と楽しみながら学習することができます。理科教育、物理、化学、生物、地学のそれぞれを専門とする先生方がおり、親身になって指導してもらっているので教員として学んでいく場には素晴らしい環境です。ぜひ私たちと「理科」教員を目指して学んでいきましょう！充実した大学生活を共に過ごせる日を楽しみに待っています。

主な開講科目

理科教育概論／理科教育演習Ⅰ・Ⅱ／量子力学の世界
力学の世界／分析化学／有機化学／植物生態学
細胞生物学／地質学／水圏科学／野外実習
各科目（物理・化学・生物・地学）の実験

取得できる免許状

・〔初等教育履修分野〕小学校教諭一種 等
・〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種（理科） 等
（P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照）

卒業後の主な進路

小学校教員と中学校教員が主な進路です。そのほか、大学院進学や企業など、活躍の場は幅広くあります。

教員および専門分野（令和3年5月1日現在）

・石井 俊行教授／理科教育学
子どもたちの科学概念の構築を阻害する要因の究明
・森本 弘一教授／理科教育学
科学的素養を高める理科教材の開発
・信川 正順准教授／地学
X線天文学
・藤井 智康教授／地学
湖沼・沿岸海洋の環境動態
・和田 穣隆教授／地学
火山地質学、紀伊半島の中期中新世火山活動
・石田 正樹教授／生物学
原生動物を用いた細胞生物学
・村松 大輔特任准教授／生物学
動物の動きや形が持つ意味を調べる動物行動学
・小長谷 達郎准教授／生物学
昆虫の生理生態学・進化生態学
・辻野 亮教授／生物学
森林の生態学、人と自然のかかわり
・松井 淳特任教授／生物学
木本の繁殖生態、湿原の保全生物学
・梶原 篤教授／化学
新しい物質を作り出す科学
・山崎 祥子教授／化学
新しい有機合成法の開発研究
・片岡 佐知子特任准教授／物理学
高エネルギー物理学
・常田 琢教授／物理学
ナノスケール構造物の創製と物性測定
・中村 元彦教授／物理学
物理を中心とした科学教育と強相関系固体物理学
・松山 豊樹教授／物理学
素粒子論、初期宇宙論および数理科学全域

教科
教育専攻

音楽教育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

音楽を通して子どもたちを成長させるため、
豊かな感性、実技、理論、教育実践力を持った教師を育てます。

学びのポイント

1 幅広く音楽実技を学べる

声楽、ピアノ、管楽器、和楽器などの演奏技術、合唱、伴奏などのアンサンブル技術、指揮法、創作技術など、自らの音楽表現の能力を高めるため、いろいろな実技を学ぶとともに、子どもたちの音楽表現活動の指導法について学びます。

2 音楽を教えるためのすぐれた方法を学べる

子どもたちに音楽の時間を楽しく過ごしてもらい、さらに音楽の美的、知的な世界に導くため、そのための理論と教育実践の方法について学びます。

3 音楽や音楽と社会との関係についての理論を学べる

音楽を学ぶために必要な一般的・専門的な理論、さらに民族音楽学・ESDなどの観点から音楽と人間の関係を学びます。

音楽教育専修の授業スケジュール　My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限		キャリア形成と人権		教育実習事前指導	
3・4時限	中等教科教育法Ⅲ（数学）	母と子の健康科学		教育実習事前指導	作曲・編曲理論
5・6時限	中等教科教育法Ⅳ（数学）	中等教科教育法Ⅲ（音楽）		中等教科教育法Ⅱ（数学）	
7・8時限	代数構造Ⅱ			合奏Ⅰ	伴奏法
9・10時限	日本音楽実習Ⅰ				

日本音楽実習Ⅰ
長唄三味線演奏を通して日本音楽について学びます。

演奏法Ⅱ（器楽）
ピアノの演奏技術、表現方法を学びます。

演奏法Ⅰ（声楽）
声楽の演奏技術、表現方法を学びます。

合奏Ⅰ
リコーダーや教育楽器のアンサンブルによって合奏の面白さを学びます。

Student's Voice　在学生の声

「音楽の楽しさや多種多様な音楽の魅力を子どもたちに伝える」

音楽教育専修3回生
倉石 亜里彩さん
（長野県長野吉田高等学校出身）

音楽教育専修では、ピアノや声楽、指揮法、作曲・編曲、音楽理論など音楽教育に必要な専門的な技術や知識を学ぶことができます。また、このような授業を通して改めて音楽の楽しさを実感すると共に、表現することの楽しさや多種多様な音楽の魅力を子どもたちに伝えるための指導法を学ぶことができます。

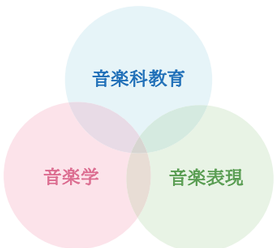
本専修は、他専修と比べて比較的人数が少ないため、熱心に指導して下さる先生方や互いに高め合える仲間がいることも大きな魅力です。学生が中心となって作り上げる学生オペラや年に何回か行われる演奏会も魅力の1つで、学年を越えてみんなで音楽を作り上げることの喜びと楽しさを味わうことができます。

音楽は、世界中の人に感動を与えることができます。そんな音楽の素晴らしさを多くの人に広めていきましょう！

学びの領域

実技と理論の両方をしっかりと身につけた教員になるための3つの学び

音楽科教育・音楽表現・音楽学についての理論や技術をバランス良く学びます。



主な開講科目
声楽Ⅰ／音楽理論／ピアノⅠ／ソルフェージュ／管楽器Ⅰ／指揮法Ⅱ
日本音楽実習Ⅰ／作曲・編曲理論／オペラⅡ／演奏実習Ⅰ／伴奏法／合唱Ⅰ／中等教科教育法Ⅰ～Ⅳ（音楽）

取得できる免許状
・〔初等教育履修分野〕小学校教諭一種 等
・〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種（音楽） 等
（P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照）

卒業後の主な進路
毎年、卒業生の8～9割が小学校教諭に採用されています（期限付き講師などを含む）。学級担任や音楽専科として、毎日子どもたちに囲まれて、元気に活躍中です。その他に、中学校教諭、企業に就職、大学院に進学する人もいます。

教員および専門分野（令和3年5月1日現在）
・前田 則子教授／器楽
ピアノ演奏法、伴奏法、及びピアノ教育、ソルフェージュ教育の研究
・北條 美香代准教授／作曲
作曲法、編曲法、管弦楽法、及び創作指導法研究
・劉 麟玉教授／音楽科教育
音楽科教育法、音楽教育史、民族音楽学、音楽社会学についての研究
・水野 亜歴准教授／声楽
声楽（オペラ、独唱・重唱、合唱）における発声法と表現方法及び指導法の研究

教科
教育専攻

美術教育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

小・中学校における児童、生徒の成長・発達を捉えた指導・支援をするとともに、造形的な力（表現力、鑑賞力）を着実に育むことのできる教員を養成します。

学びのポイント

1 自らの表現力や鑑賞力を磨き、子どもの表現と鑑賞力を導く力量を培う

学校における児童・生徒の成長・発達を捉えられるように、美術教育専修科目を核としながらも、教育学科目、心理学科目、特別支援教育科目、他教科専修科目などと関連づけて学びます。

北海道教育大学との連携企画として、
奈良の町家を活用した芸術祭に参加しました。
狩野准教授指導

展覧会準備で効果的な展示の仕方を学びます。

絵画Ⅱ 授業　人物素描

初等教科実践指導　図画工作指導に必要な基礎的な知識・技能について学びます。竹内教授指導

2 子どもとふれあい、地域とつながる

(1)地元奈良の伝統文化や文化遺産に刺激を受けながら、自らの造形的な力量形成を行い、子どもの造形的な力(表現力、鑑賞力)を育成するための内容と方法を学びます。
(2)教育実習、大学祭での活動「造形ひろば」、スクールサポートなどを通して、子どもとふれあう体験を積み、対応力を学びます。
(3)図画工作・美術教育の学修を通して、広く現代社会の現状や課題に関心をもち、社会に貢献する姿勢を学びます。

3 研修行事や卒業研究／制作発表展などの活動を通して、企画力や運営力を培う

学生が主体的に動く活動として、専修メンバー全体が参加する研修行事、学外施設での青丹彩展(あおにさい)、卒業研究／制作発表展、地域の子どもたちに向けた大学祭での「造形ひろば」などの活動があります。これらの活動を通して、企画力や集団を動かす力を養います。

学びの領域

子どもを知り、教科内容のあり方を学ぶ3つの領域

平面・立体・教科教育の3領域から構成されるカリキュラム。2年次までに各領域の基礎を学び、3年次以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学びを深め、その成果を卒業論文・卒業制作にまとめます。

11月の大学祭での「造形ひろば」
土粘土でお菓子や動物を作ります。
指導者として子供と接する体験ができます。昨年度4回生　久保拓人君
宇田教授指導

美術教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【2回生前期の一例（小学校、中高の美術、特別支援免許を取得予定）】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限		初等教科教育法（生活）	生徒指導			絵画Ⅱ
3・4時限		先端科学の基礎概念	病弱児の医学と心理	教育経営行政論	外国語コミュニケーション(英語)	学習指導と学校図書館
5・6時限	教育方法論★（教育方法・メディアA）	学校経営と学校図書館		彫刻Ⅰ	初等教科教育法（算数）	
7・8時限	体育実技	中等教科教育法Ⅰ(美術)		西洋美術史Ⅰ	工芸Ⅲ	
9・10時限				美術概論	デザインⅢ	

工芸Ⅰ-Ⅳ
土という素材の基本的な扱い方、「土の表情」の発見と応用、実用品の制作での留意点の把握、石膏型を使った陶磁器作りなどを通じて陶芸表現分野の特質や魅力を追究します。ひも作り、たたら作り、釉薬、焼き味、型からの成形などを学びます。

「工芸Ⅰ」原山准教授指導
土と親しみながら楽しく学びます。

絵画Ⅰ-Ⅲ
絵画における人体の構造、構図、グラフィックソフトを用いた映像メディア表現などを学び、現代における造形表現の広がりをふまえた絵画表現を追究します。

青丹彩展で作品を講評する狩野准教授

在学生の声

Student's Voice

「表現する楽しさを子供達に伝える」

美術教育専修4回生
武吉 日菜子さん（大阪府立鳳高等学校出身）　**高岡 知葉さん**（奈良県立畝傍高等学校出身）

美術教育専修では、造形表現・図画工作・美術に関する知識や技能を高めるとともに、どのようにして幼稚園・保育園、小学校、中学校、高校などの教育に生かせるかを学びます。

図画工作や美術の指導法や、絵画、彫刻、工芸、デザインといった実技など、幅広く学ぶことができます。他にも学生が主導して行う作品展「青丹彩(あおにさい)」や、研修行事、そして大学生活の集大成となる卒業制作展と、美術を学ぶ機会が充実しています。ひとりひとりの表現を尊重した指導をしていただけるので、楽しく学ぶ事ができます。そして同時に、子供達が様々な材料を使って自由に表現できるような方法について研究します。

先生との距離も近く、教えて欲しい事はいつでも聞ける雰囲気の専修です。先輩後輩の仲も良く、和気あいあいとしています。皆さんも、ぜひ一緒に美術教育専修で学びましょう！

主な開講科目
保育内容の指導法(造形表現)／初等教科教育法(図画工作)／中等教科教育法Ⅰ-Ⅳ(美術)／デザインⅠ（映像メディア表現を含む。）／デザインⅡ-Ⅲ／デッサンⅠ-Ⅱ／彩画／絵画Ⅰ-Ⅲ／彫刻Ⅰ-Ⅲ／実材／工芸Ⅰ-Ⅳ／アジアの中の日本美術史

取得できる免許状
・〔初等教育履修分野〕小学校教諭一種 等
・〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種(美術) 等
(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路
小学校教諭、中学校美術科、高校美術科教諭が主な進路です。その他、特別支援学校教諭、幼稚園教諭、保育士、高校や大学の講師、公務員、デザイン関連会社、工房、芸能などの場で活躍しています。

教員および専門分野（令和3年5月1日現在）
・宇田 秀士教授／図画工作・美術科教育
題材開発に基づいた授業研究、近代日本美術教育実践史研究
・竹内 晋平教授／図画工作・美術科教育
図画工作・美術科授業研究、生涯学習と美術に関する研究
・狩野 宏明准教授／絵画
絵画における空間表現の研究と制作、絵画教育への活用
・原山 健一准教授／工芸
陶による造形表現の研究、陶芸の教育現場での活用

教科
教育専攻

保健体育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

実践的指導力のある保健体育・スポーツのプロフェッショナルを養成します。

学びのポイント

1 少人数指導による学習の深まり

それぞれの専門の授業は、少人数制で展開されるので、充実した教育を受けることができます。卒業論文の作成においても、1教員が2〜4名の学生を担当するので、中身の濃い研究指導を受けることができます。

2 副免許、資格取得

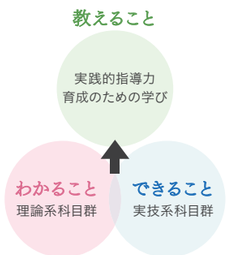
カリキュラム上、小学校教諭、中学校・高等学校の保健体育教諭、さらには養護教諭の免許や、日本スポーツ協会認定「コーチングアシスタント」、教育支援人材認証協会「こどもサポーター(バルシューレ)」の資格が取得できます。

3 スポーツ指導経験の重視

生涯スポーツの推進という広い視野をもつ保健体育教員を育成するために、スポーツ指導方法論や地域スポーツ実習の授業では、近隣の地域スポーツクラブや本学公開講座の子どもボール教室で指導をしています。

学びの領域

確かな保健体育の「理論と実技」に基づく「実践的指導力」を習得します



上図の3つの領域の学びから、保健体育やスポーツの社会的教育的重要性や学問としての体育・スポーツの価値を自らの身体を通して認識することができます。

主な開講科目

球技(基礎)／器械運動／水泳／表現運動・ダンス(体つくり運動を含む。)
体育心理学／運動学(運動方法学を含む。)
生理学(運動生理学を含む。)／学校保健
体育原理／中等教科教育法Ⅰ(保健体育)
障害者スポーツ論／保健体育演習

取得できる免許状

・〔初等教育履修分野〕小学校教諭一種 等
・〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種(保健体育) 等
(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

保健体育専修の授業スケジュール

My Schedule

【2回生後期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限		運動学(運動方法学を含む。)				野外活動(雪上)
3・4時限	外国語コミュニケーション(英語)P	体育・スポーツ経営学	スポーツ社会学	学校フィールド演習Ⅰ(学校体験活動)		
5・6時限	中等教科教育法Ⅱ(保健体育)	カリキュラム論		公衆衛生学		野外活動(キャンプ)
7・8時限	生理学(運動生理学を含む。)	初等教科教育法(図画工作)			体育原理	
9・10時限		スポーツ医学				地域スポーツ実習

スポーツ医学
教員が知っておくべき現場に直結したスポーツ医学の知識ならびに技術を修得します。

地域スポーツ実習
総合型地域スポーツクラブにおいて、小学生にバルシューレ(基本的なボール運動)を教えることを通して、実践的な指導力を修得します。

野外活動(雪上)
雪上での実習において、スノースポーツの安全管理や指導法を獲得し、指導者としての資質の向上を図ります。

野外活動(キャンプ)
自然に親しみ、教育キャンプの知識や技能を高めるとともに、その基礎的指導法を習得し、併せて集団生活を通して人間的交流を行います。

Student's Voice　在学生の声

「実践的な指導力と正しい知識を養う」

保健体育専修4回生
佐藤 麻帆さん
(奈良県立高田高等学校出身)

保健体育専修では、運動やスポーツの楽しさを知り、その楽しさを子どもたちに伝える指導法を学ぶことができます。

1年生から2年生前期までは主に実技系の授業、2年生後期からは座学系の授業が中心です。実技系の授業では、専修の仲間たちと運動やスポーツの楽しさを共有しながら、実践的な指導力を身に付けます。座学の授業では、保健と体育に関する専門的な知識を学び、子どもたちに正しい知識と望ましい考え方について指導するための準備をします。そのようにして学び得た専門的知識と技量を、「教育実習」や「地域スポーツ実習」「野外活動」で試すことができます。

皆さんも保健体育専修で、最高の仲間たちと共に、楽しみながら保健体育について学びましょう!

卒業後の主な進路

過去3年間(2018年度〜2020年度)の卒業生62人中、過半数が教職についています。教職についた者の内およそ7割が正規採用、およそ3割が期限付き採用でした。また、全体の11%が大学院に進学し、16%が公務員になっており、その他の卒業生は企業等に就職しています。

教員からのメッセージ

運動の苦手な子ども達を含め、全ての児童生徒が体育・スポーツを好きになる指導ができ、学校でヘルスプロモーション(健康保持増進)を推し進めるキーパーソンとなる教員の養成を目指しています。日本代表チームをサポートし、競技能力を向上させる研究・実践を行っている教員も複数います。

教員および専門分野(令和3年5月1日現在)

・高橋 豪仁教授／スポーツ社会学
生涯スポーツやスポーツイベントについての社会学的研究
・井上 邦子准教授／体育原理
スポーツ文化における身体論に関する研究
・笠次 良爾教授／学校保健・スポーツ医学
学校、スポーツ現場における危機管理、傷病予防に関する研究
・立 正伸准教授／運動学・スポーツトレーニング論
映像を用いた運動動作の分析、および筋の出力に関する研究
・髙木 祐介准教授／運動生理学・応用栄養学
気象・環境条件の変化や運動がヒトの肺機能、体温、味覚、食欲に及ぼす影響に関する研究
・宮尾 夏姫准教授／体育科教育学
体育科授業研究、体育科教師教育に関する研究

教科
教育専攻

家庭科教育専修

初等教育履修分野／中等教育履修分野

生活を科学的に学び、児童生徒の生活自立を支援するための
生活指導力や健康指導力を身につけた教員を育てます。

学びのポイント

1 少人数で学び、高い専門性をつける

少人数での講義、実験、実習、演習の授業を通して、生活における人と環境の関連を学びます。健康で豊かな生活のあり方を科学的に学び、児童生徒に対する生活指導力や健康指導力を身につけます。

「食品栄養学実験」では、栄養素の消化・吸収・代謝および食品成分の定量、味覚の生理などの実験を行い、実験の手技手法やデータ処理を学びます。実験結果の考察から、栄養学・食品学の知識が深まります。

文献学習やフィールドワークから地域について考えます。「地域生活論」

2 実践的に学び、指導力を磨く

学校や地域と連携した教育実践や見学会、学外学習活動など、実践的な学びも大切にしています。

調理の知識や技術、調理実習における指導方法や調理室の管理の仕方も学びます。「調理学実習」

保育所で子どもと触れ合いながら保育のあり方を考えます。「保育学（実習を含む。）」

小学校のクラブ活動で手芸や調理を教えながら、実習指導の工夫を考えます。

学びの領域

生活を構造としてとらえる

「共生」「健康」の認識にたち、着る・食べる・住まう・育てる・家庭生活を営むことを学びます。さらに、家庭科教育の立場から人間の発達段階と生活を関連づけてとらえます。

家庭科のプロフェッショナルを目指します！（2021年度新入生）

家庭科教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	家庭電気・機械及び情報処理			教育実習事前指導		家庭科授業設計
3・4時限	栄養生理学	母と子の健康科学		教育実習事前指導		学校支援実践
5・6時限	中等教科教育法Ⅲ（家庭）	衣生活論		食品栄養学実験	生徒指導・教育相談Ⅱ	
7・8時限	生活統計学	地域生活論		食品栄養学実験	被服構成学実習Ⅰ	
9・10時限	食生活論				被服構成学実習Ⅰ	

被服構成学実習Ⅰ
私たちは浴衣を製作しました。この授業では、小中学校の被服製作に関する基本的な知識や技術を身につけます。

生活統計学
統計の基本的考え方を理解するとともに、様々な資料やデータから得られた「数値」の持つ意味や雰囲気を読み取るために必要な知識・技術を学びます。

中等教科教育法Ⅲ（家庭）
学習指導案の作成や模擬授業、授業研究などを通して、知識を深めつつ家庭科の指導力を高めます。

在学生の声

Student's Voice

「「生活」に関する幅広い分野の講義、実習、実験を通して、実践力を身につけます！」

家庭科教育専修3回生
後藤 弘樹さん
（奈良県立橿原高等学校出身）

家庭科教育専修では、私たちの生活に欠かせない衣食住を中心に、家族や保育、消費生活など、生活に関わる様々なことを専門的に学びます。2回生以降になると、知識をつけるだけではなく、知識を生かせる実践力をつけるための実験や実習もあります。教員免許に関しては、主免許・副免許を合わせると小学校、中学校（家庭）、高等学校（家庭）の免許が取得可能です。

家庭科教育専修は少人数の専修であるため、教員との距離が近く、授業や実習などでは手厚い指導を受けることができます。さらに、先輩後輩同士の距離も近く、上回生が料理を振る舞う機会があるなど、とても仲が良いことも特徴の一つです。ぜひ私たちと一緒に学びましょう。

主な開講科目
栄養学／家庭経営学／住居学（製図を含む。）
家族関係学／保育学（実習を含む。）／調理学実習／被服構成学実習Ⅰ・Ⅱ（実験を含む。）
育児学／衣生活論／家族福祉論／地域生活論／食品栄養学実験

取得できる免許状
・〔初等教育履修分野〕小学校教諭一種 等
・〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種（家庭） 等
（P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照）

卒業後の主な進路
卒業生の大半が小・中・高等学校の教員として活躍しています。大学院へ進学したり、一般企業へ就職する学生もいます。毎年、全員が希望する進路へ進んでいます。

教員および専門分野（令和3年5月1日現在）
・杉山 薫教授／食物学
自閉スペクトラム症者の味覚特性
・立松 麻衣子教授／家庭経営学
高齢者の生活、地域居住
・中川 愛准教授／保育学
対乳児行動に関する研究
・村上 睦美准教授／家庭科教育、食物学
消費者教育、健康と食との関わり

教科
教育専攻

技術教育専修

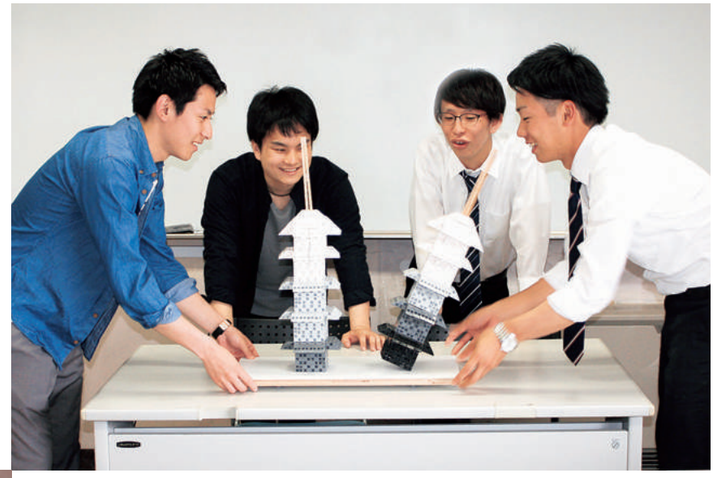
中等教育履修分野

「技術立国ニッポン」を支える「ものづくり」を
推進する高い技術力を備えた教員を養成します。

学びのポイント

1 ものづくりに関する幅広い分野について学ぶ

中学校技術・家庭（技術分野）は木材加工、金属加工、機械、電気、情報、栽培の6つの分野から構成されています。本専修ではこれらの幅広い分野について基礎から応用まで学びます。



2 ものづくりに必要な理論を身に付ける

ものづくりを正しく行うには理論的基礎を身に付けておくことが必要です。本専修では木材工作理論、金属工作理論、機構学、電気基礎、情報基礎、栽培学原論など、ものづくりに関する多数の講義科目を開講しています。

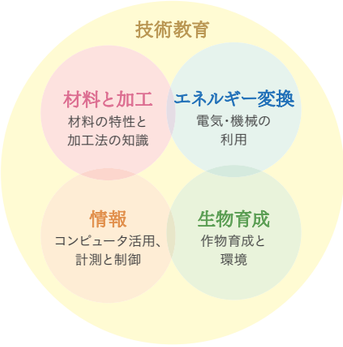
3 ものづくりの実習を通して実践力を身に付ける

本専修には材料工作実習、金属工作実習、機械実験実習、電気実験実習、情報技術実習、栽培実習など多数の実習科目があります。これらの実習を通して工作や栽培の実践力を培います。特に少人数による徹底した実習によって、高い技能を身に付けることを特長としています。

学びの領域

4本柱で支える技術教育

技術教育の4本の柱をバランスよく学びます。



技術教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【3回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限				教育実習・事前指導	
3・4時限	情報技術演習	特別支援教育論		教育実習・事前指導	技術史
5・6時限			中等教科教育法Ⅰ（工業）	中等教科教育法Ⅲ（技術）	木質材料学
7・8時限	電気実験実習	初等教科教育法（国語）		機械設計製作	金属工作実習
9・10時限		初等教科教育法（社会）			

情報技術演習
Excel VBAを用いてプログラミング演習を行っています。

材料工作設計
木製品の設計を行うにあたって必要な基本的事項を学び、製作過程で設計が重要であることを理解します。今回は額縁を製作しています。

Student's Voice 在学生の声

「少人数だからこそ学べる“ものづくり”」

技術教育専修3回生
荊木 拓さん
（大阪教育大学附属高等学校天王寺校舎出身）

技術教育専修では材料と加工、エネルギー変換、生物育成、情報を中心として、実習を交えながら、ものづくりの素晴らしさを実感しつつ、それを子ども達に伝えていく力を修得することができます。

この専修では、他の専修と比べて少人数で学ぶことができます。これにより、ひとりひとりが主体的に学びながらも、協力しあって活動を進めていけるような土壌が整っている、ということは魅力の1つと言えます。また、人数が少なく先生方との距離が近いため、意欲的にチャレンジすれば、それに親身に応じていただける、ということも魅力の1つです。

こうした魅力のある環境――技術教育専修で、“ものづくり”を一緒に学びませんか。

主な開講科目
木材工作理論／ものづくり学／栽培学原論／電気基礎
機械実験実習／情報技術実習／情報基礎／栽培実習
電気実験実習／金属工作実習／材料工作設計／栽培環境学

取得できる免許状
・〔中等教育履修分野〕中学校教諭一種（技術）等
（P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照）

卒業後の主な進路
中学校教諭（技術）、小学校教諭、高等学校教諭（工業）が主な進路です。その他、公務員、企業、大学院への進学など、活躍の場は幅広くあります。

教員および専門分野（令和3年5月1日現在）
・世良 啓太准教授／技術科教育・機械金属
技術科教育における指導方法の研究開発
・谷口 義昭特任教授／技術科教育・木材加工
技術科教育教材の開発研究
・箕作 和彦准教授／栽培
栽培技術の研究と開発
・薮 哲郎教授／電気・情報
電気・情報分野の教材開発

教科
教育専攻

英語教育専修

中等教育履修分野

国際コミュニケーション言語の英語、および英語圏の文化に焦点を当て、国際的視野を備えた教員を育てます。

学びのポイント

1 実践的コミュニケーション能力の養成とその効果的な教え方について学ぶ

各授業を通して、英語の「読む、書く、聞く、話す」の四技能を伸ばし、実践的コミュニケーション能力を育てます。また実践的コミュニケーション能力を伸ばすための教え方を学びます。

学校教育現場で必要な英語コミュニケーション能力を養成します。

2 言語の本質や異文化理解について学ぶ

すぐれた英語教員になるためには、十分な英語運用能力だけではなく、言語の本質や言語文化についての一定の見識を身につけることが必要です。そこで、人間の言語にはどのような特徴があるのか考え、また言語と密接な関係にある文化や文学面から人間理解を試みます。さらに、異文化理解とは何かについて、さまざまな視点から学びます。

3 思考力を基礎にした発信力を学ぶ

グローバル化した社会における教育実践力を高めるため、英語による卒業論文作成などを通して、考える力、まとめる力、発信する力を習得します。

論理的で簡潔な英語の発信を通して、教室で必要な英語運用能力を獲得します。

学びの領域

ことばと教育、文学、国際理解教育のあり方を学ぶ4つの領域

これら4つの領域から「ことば」を捉え、探求する姿勢を養います。

英語教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【2回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI
1・2時限	板書実践指導	初等教科教育法(生活)	生徒指導(進路指導を含む)・教育相談Ⅰ(中等)		
3・4時限	外国語コミュニケーションA	初等教科教育法(国語)	異文化理解研究Ⅰ	英語文化交流論	
5・6時限	英会話Ⅰ	英米文学史Ⅰ		教育方法・メディア(中等)	初等教科教育法(算数)
7・8時限	体育実技	国際英語文化教育論		音声学・音韻論	中等教科教育法Ⅰ
9・10時限	英作文Ⅰ				

英作文Ⅰ
グローバルな立場に基づき世界を把握するために、さまざまな視点からの英作文を行います。

英文法演習
人間の言語知識について考えます。高校で学ぶ英文法とは異なる世界が楽しめます。

実践英語研究Ⅰ
インタラクティブな活動を通し、日常及びアカデミックな状況に対応する高度な英語運用能力を身につけます。

言語文化研究Ⅰ
言語と文化の関わりをいろいろな視点から探求し、広い視野と柔軟な発想を身につけます。

Student's Voice 在学生の声

「奈教だから身につけられる、英語力と教師力。Experience a wonderful life in Nara!」

英語教育専修4回生
下原 舞さん
(奈良市立一条高等学校出身)

奈良教育大学の英語教育専修では、英語教育や国際理解教育を実践的に学べるだけでなく、ことばそのものに視点を当てて学習する英語学や、イギリスやアメリカの文学を読んだり味わったりできる英米文学も学んでいます。どの授業でも先生との距離が近く、気軽に質問ができるため質の高い学びが得られますし、模擬授業やプレゼンテーション、グループワークなど数多くの活動を英語で経験することができます。教員の英語力向上が求められる今、英語の「読む、書く、聞く、話す」の四技能と実践的なコミュニケーション能力を伸ばすことのできる奈教だからこそ経験できる事が沢山あります。英語教師を目指すなら奈良に。一緒に楽しく学びましょう!

主な開講科目
英語学概論／英米言語文化論／英米文学作品研究
国際英語文化教育論／音声学・音韻論／英会話Ⅰ・Ⅱ
実践英語研究Ⅰ・Ⅱ／国際理解教育演習Ⅰ・Ⅱ／英米文学特講
異文化理解研究／言語コミュニケーション論／言語文化研究Ⅰ・Ⅱ

取得できる免許状
・中学校教諭一種(英語) 等(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路
年度により若干のばらつきはありますが、教員(小学校、中学校、高等学校)が主な進路です。教員の他には、会社員や公務員として就職したり、大学院に進学する学生もいます。例年卒業生のほぼ全員が教職、公務員、大学院等希望通りの進路に進んでいます。

教員および専門分野(令和3年5月1日現在)
・佐藤 臨太郎教授／英語教育学
教室第二言語習得研究
・トーマス・アムンルド准教授／実践英語教育
言語学・談話分析
・門田 守教授／英米文学
19世紀イギリス・ロマン派の詩および小説、文化の研究
・米倉 陽子准教授／英語学
認知言語学、言語変化研究

伝統文化
教育専攻

書道教育専修

書道という伝統文化を用い、情緒豊かで社会に貢献できる
生徒を育成する教員を育てます。

学びのポイント

1 奈良という恵まれた環境

奈良は、書道に関する文献資料が、正倉院をはじめ、多くの寺社や博物館に納められており、公開の機会は多くあります。また、墨や筆の製造は奈良がわが国を代表するものであり、ことに製墨業においては現在も全国生産の殆どを担っています。その製作過程を見学し体験することも可能です。このように、奈良は書道を学習する者にとって最も適した環境にあると言えます。

2 高等学校芸術科書道の免許取得

書道教育専修では高等学校芸術科書道の免許が取得できます。高校現場で直ぐに教育実践できる力を養うため、漢字・仮名・漢字仮名交じり文・篆刻・生活書式法・中国書道史・日本書道史・書道理論・書道科教育法などの指導力を培う授業が展開されています。

3 書家としての実力をつける

学外では、全日本高校・大学書道展で毎年最高賞を受賞したり、日本学生・生徒・児童書道展覧会(通称「日本学書展」)で上位入賞し、学内では奈良教育大学書道展、各回生別学内展などを催し、作品制作力を養成します。

学びの領域

芸術科書道教員としての資質を磨く3つの領域

2年次までに各領域の基礎を学び、3年次以降は各自が専門領域に選んだ研究室で学び、その成果を卒業論文としてまとめます。

書道教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【非対面授業でなかった場合の時間割】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限		漢字造形論	中等教科教育法Ⅱ(英語)	教育実習事前事後指導		正倉院の書蹟
3・4時限		特別支援教育論		教育実習事前事後指導		
5・6時限	日本文学特講	書道理論		中等教科教育法Ⅱ(国語)		
7・8時限	漢字条幅研究			音声学・音韻論	日本文学史Ⅰ	
9・10時限		英文法演習		日本語学概説Ⅰ	漢文学概説	

書道(書写を中心とする。)
正しく整った文字の書き方を習得し、「書写」を指導できる力量を身につけます。

書道理論
様々な書道理論を幅広く学ぶことにより、自らの書道に対する考えを確立します。

仮名書法論
仮名の書法を、主に平安時代の作品から学びます。まねをして書くことで、筆者の気持ちになり、自然と筆遣いや構成の仕方が身につきます。さらに個別添削で確実な習得を目指します。

Student's Voice 在学生の声

「古都奈良の地で書道を深く学ぼう！」

書道教育専修3回生
小槻 茉以さん
(智辯学園
奈良カレッジ高等部出身)

書道教育専修では、書道の歴史について学んだり、作品制作・作品鑑賞を通して、様々な書風や書体を深く学ぶことができます。作品を制作する上で欠かせない、墨づくりや筆づくりの見学など、書道道具についても学びを深めることができます。

また、授業以外では、技術面の向上のために、多くの展覧会にも出品しています。昨年はコロナウイルスの影響で開催することができなかった「フレンドシップ事業」では、高校生を対象に、私たち大学生が書道を教え、教員になるための能力を養うなど、様々な活動を行っています。先生方からのご指導はもちろん、同じ専修の仲間と切磋琢磨しながら、充実した大学生活を送ることができます！

書道好きの方！ぜひ、私たちと一緒に書道教育専修で書道を学びましょう！

主な開講科目
楷書法／仮名書法論／書道史Ⅰ／行書法／古筆研究Ⅱ
篆刻法／漢字条幅研究／仮名創作法Ⅰ／書道理論
漢字作品研究Ⅰ／仮名作品研究Ⅱ／生活書式法

取得できる免許状
・高等学校教諭一種(書道) 等(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路
過去の卒業生の内大学教員になったものは３０名以上、また、奈良県下、大阪府下共に、高等学校書道教員の半数以上が本学出身者であるという実績があり、ここ数年の卒業生は、小・中・高等学校の教員や、期限付き教員として採用されました。その他、公務員、企業、大学院への進学などです。

教員および専門分野(令和3年5月1日現在)
・豊田 宗児教授／漢字：古代文字
漢字書法、古典文字・篆刻についての研究
・谷川 雅夫教授／書道史・書道理論・書道教育
中国書道史、日本書道史、書道理論、書道教育についての研究
・北山 聡佳准教授／書道：仮名
仮名書道全般についての研究

伝統文化
教育専攻

文化遺産教育専修

奈良の特色である文化遺産を通じて、
文化財の内容・技能を伝え活かす教育を創造します。

学びのポイント

1 高い専門性と恵まれた環境

代表的な古社寺の世界文化遺産登録に象徴されるように、奈良は日本を代表する文化遺産と考古遺産の宝庫です。奈良という恵まれた環境を中心に据えて各授業やカリキュラムが構想されています。文化遺産の内容・技芸を積極的に生徒や地域社会に伝え、活かすことの出来る力量を持つ人物を育てて、奈良の地で文化遺産教育を創造します。

2 文化遺産を理論・実践(実技)の両面にわたって理解する

美術の教員免許を取得するグループと理科の教員免許を取得するグループとが一つの専修をかたちづくりますが、専修科目は共通の科目群から修得し、波及的に他の教科と関連づけることもできます。教材として教科を横断する総合性をもつ文化遺産について、美術・理科などの教科内容を大事にしながら、学びの内容や技芸の水準をたえず向上させ、教科を超えた理解力・感性・洞察力・表現力を養います。

3 文化遺産を学ぶことで現在・未来を見通す

文化遺産教育専修では、美術工芸史や、考古遺産も含めた環境や材質に関係する自然科学への深い理解と、技法面・保存修復に関する豊かな能力・技芸を併せ持ち、文化遺産の真価を学校や社会に向けて発信し教育する力を備えた人材を養成します。文化遺産の理解・活用に不可欠な博物館に関する科目を一部専門科目に位置づけ、教員と博物館学芸員との人事交流がある現状にも応えます。

学びの領域

体験を重視しながら文化財を深く学ぶ3つの領域

文化遺産・文化財の模写、復元図・復元模造品の作成などを通じて、伝統的技法を継承し、日本文化の基調をなす造形活動の基礎を身につける美術工芸記録保存・制作、奈良をはじめとする日本各地の文化遺産や、その源流となるユーラシアの古代美術について、造形芸術学の観点から学び、実技体験にも裏打ちされながら研究の水準を深める日本・東洋美術史、科学の基本を学び、文化遺産・考古遺産の環境や材質の分析を通じて、文化財の保存と復元の研究を深化させる文化財科学の3つの領域があります。

文化遺産教育専修の授業スケジュール

My Schedule

【2回生前期の一例】

	MON	TUE	WED	THU	FRI	集中講義
1・2時限	板書実践指導		生徒指導・キャリア教育			絵画Ⅰ
3・4時限	外国語コミュニケーション(英語)	彩色材料論	造形芸術学特講	学校フィールド演習Ⅰ		博物館展示論
5・6時限	教育方法論B	文化遺産科学Ⅰ		彫刻Ⅰ		学校フィールド演習Ⅰ
7・8時限	体育実技Ⅱ	中等教科教育法Ⅰ			生涯学習概論Ⅰ	
9・10時限				美術概論	デザインⅢ	

造形芸術学特講
奈良時代盛期ー江戸時代の各期に属する日本美術の展開を、名作の熟視を通じて会得します。

彩色材料論
我が国の伝統的な絵画および工芸品について、正倉院宝物などの調査報告書等によりながら、種々の材質等について学びます。

Student's Voice 在学生の声

「この奈良の地を活かして」

文化遺産専修2回生
山田 桃子さん
(滋賀県立膳所高等学校出身)

文化遺産教育専修は少人数であるためフィールドワークが多く、他の学年との交流も活発であるため、刺激をもらえることが特徴です。遺跡や古墳、神社仏閣を巡り自分の目で確かめることで理解が深まることも魅力だと感じます。

また、教育大であるため学んだことを発信する場が多く設けられています。伝えることで自身の理解が深まるとともに、意見交流において新たな知識が増え、自分の世界を広げることができます。

大学内や周囲にも文化財が多く、史料と環境に恵まれています。この奈良という地の利を生かせる格好の場で、文化遺産について一緒に学びませんか?

主な開講科目
地域と文化遺産教育／文化遺産科学／ユーラシア美術史／彩色材料論
文化遺産特論Ⅰ(考古学)／文化遺産特論Ⅱ(建築史)／日本工芸史／地質学
工芸理論特講／保存科学演習／アジアの中の日本美術史／造形芸術学特講

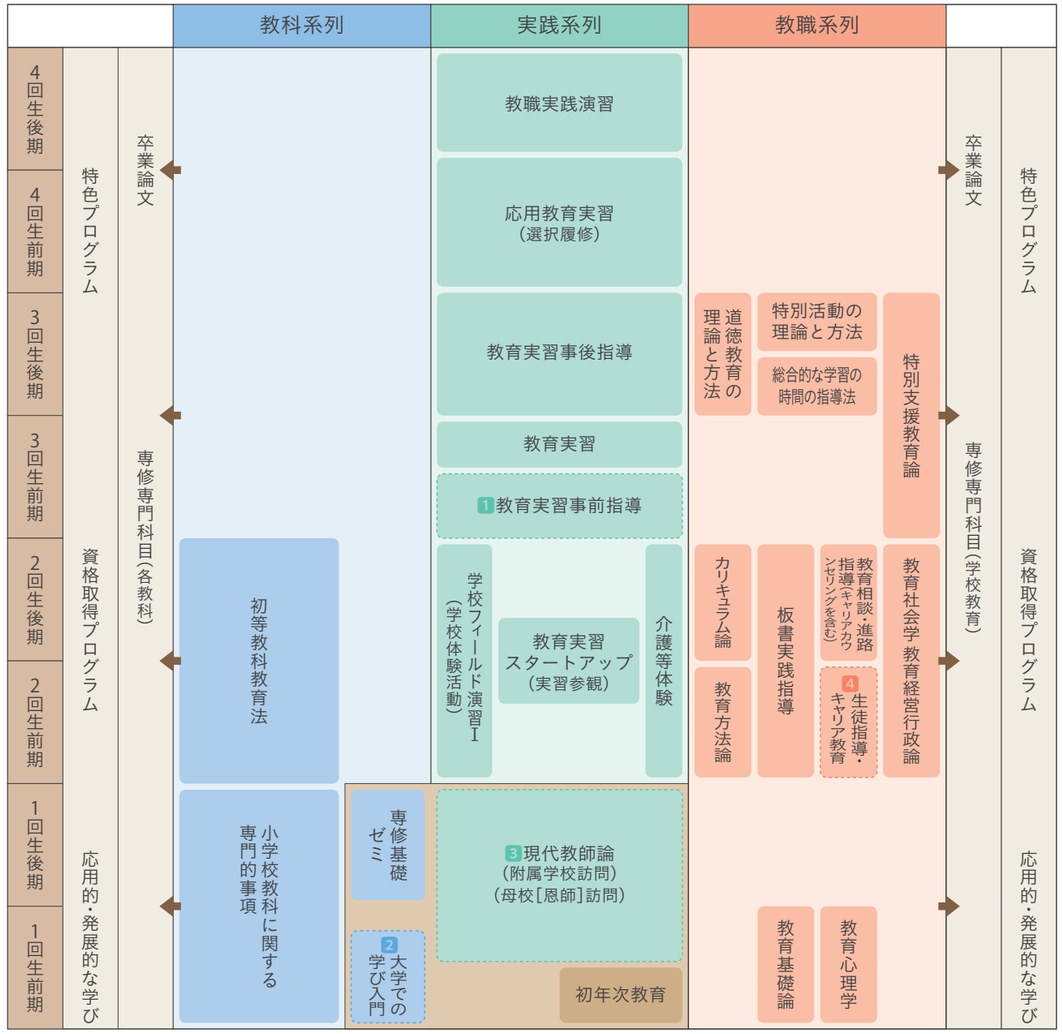
取得できる免許状
・中学校教諭一種(美術または理科) 等
(P.6,7「取得できる免許状・資格」のページ参照)

卒業後の主な進路
奈良や自分が生まれ育った地域の文化・伝統に関心を持ち、それを継承したいという意欲を持つ中学・高校の美術・理科の教員、博物館・美術館の学芸員、普及員、保存修復技術者などが考えられます。

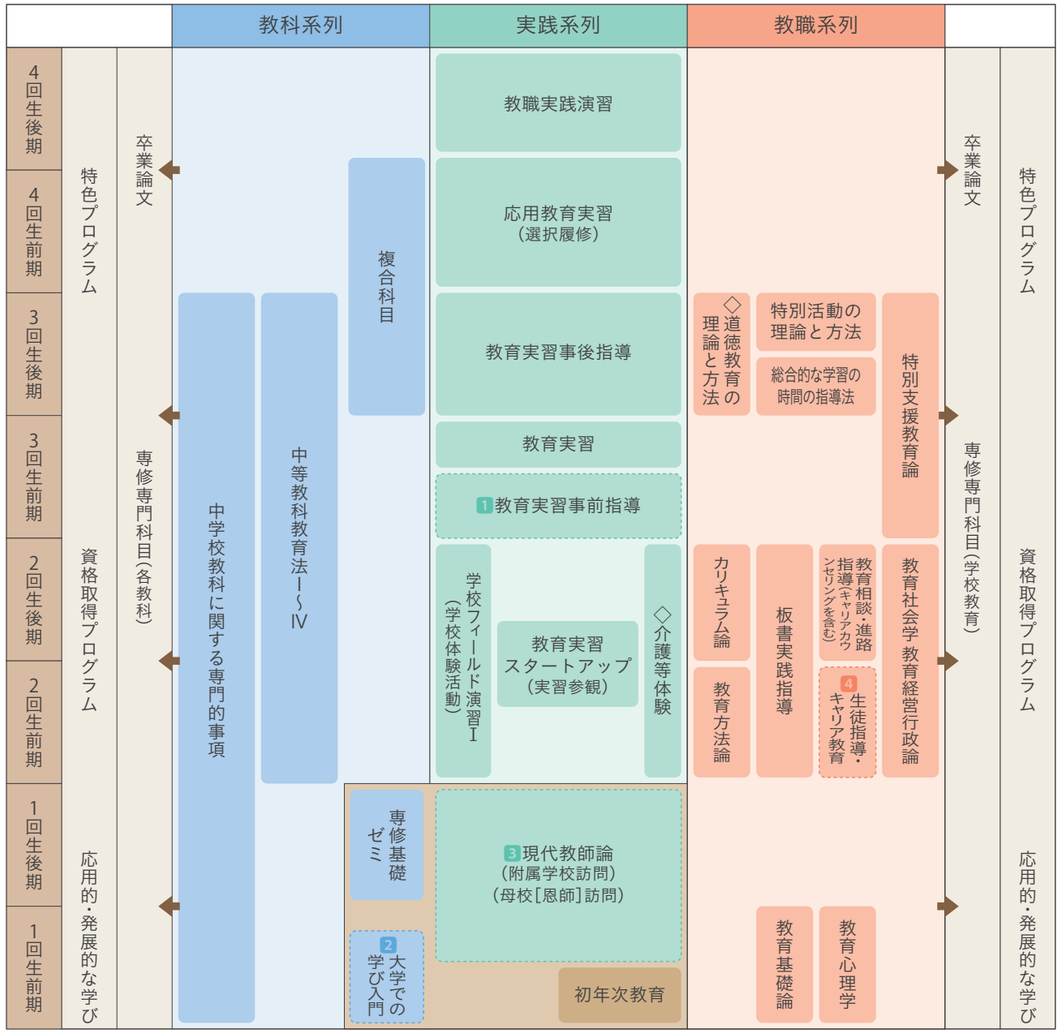
教員および専門分野(令和3年5月1日現在)
・金原 正明教授／環境考古学
遺体分析による環境・生業の復元および材質同定
・山岸 公基教授／日本・東洋美術史
ユーラシア美術史をふまえた日本古代・中世美術史の研究
・大山 明彦教授／絵画記録保存
伝統的技法による彩色文様の模写・復元

教育実習をふまえた実践的カリキュラム

小学校教員養成カリキュラム・マップ



中学校・高等学校教員養成カリキュラム・マップ



◇は高等学校のみの場合は不要

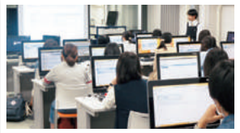
カリキュラムの具体例

1 教育実習事前指導

教育実習に赴く前に、事前指導を行い、実習生として必要な資質や実践的知識・能力を身につけます。幼稚園実習、小学校実習、中学校・高等学校実習の3つのグループに分かれ、それぞれの専門性や特殊性に応じたプログラムを展開しています。実習生が附属小学校に学級訪問に赴き、子どもたちの前で自己紹介をしたり、授業参観をする時間もあります。

2 大学での学び入門

高校までの学習をふまえ、さまざまな分野の学問・研究を深めるために必要な読解力・分析力・総合力・表現力などの基礎的力、ベーシック・アカデミック・スキルを各専修の専門性に則しつつ身につけることをめざします。「図書館ガイダンス」では、今後の研究等において必要となる図書や雑誌論文等の入手方法を学びます。



3 現代教師論

講義とディスカッションを通して、教職を学ぶ者として、受け身から主体へと立場を転換していくことをめざします。教員の仕事や役割、職務内容の一端を知り、「教師の仕事」についてのイメージを形成し、「子ども」としての自分から、「教師になりゆく者」としての自分への立場の転換を自覚し、その転換にむけた構えを形成していきます。先輩から教育実習で学ぶことなどのアドバイスも受けます。

4 生徒指導・キャリア教育

生徒指導と進路指導は学習指導と並ぶ重要な教育活動です。児童生徒が集団での学校生活の中で、学校生活を終えた後の生活も見据えた社会的資質や行動力を高めるとともに、個人としても尊重され人格的な成長・発達を実現していくための指導・援助のあり方と教育的課題について理解し、そのために必要な、児童生徒の社会性や自己の発達、その支援・援助に関する理論的・実践的知識と素養を身に付けます。

教育実習

教員免許状取得のために必要な教育実習は、教員になるための貴重な実践経験をふまえて、教員についての総合的な認識と力量等を身につけるため、卒業要件に係る教員免許状の種別ごとに下記を標準として行われます。

教育実習に参加するためには、実習前の事前指導を受講する必要があり、また、教育実習後には事後指導も行われます。

なお、小学校または中学校の免許状を取得する場合は、2回生で7日間の「介護等体験」が義務づけられています。

教育実習の標準的な実施方法

課程	専攻	専修・履修分野		卒業要件教員免許状	教育実習予定校
学校教育教員養成課程	教育発達専攻	教育学専修		小学校一種	附属小学校(3回生)
		心理学専修		小学校一種	附属小学校(3回生)
		幼年教育専修		幼稚園一種	附属幼稚園(3回生)
		特別支援教育専修		特別支援学校一種 及び 小学校一種・中学校一種の いずれかひとつを選択	協力校(特別支援学校)(3回生)
					附属小学校(3回生) 又は 附属中学校(3回生)
	教科教育専攻	国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修 家庭科教育専修	初等教育履修分野	小学校一種	附属小学校(3回生)
		国語教育専修 社会科教育専修 数学教育専修 理科教育専修 音楽教育専修 美術教育専修 保健体育専修 家庭科教育専修 技術教育専修 英語教育専修	中等教育履修分野	中学校一種(専修の教科)	附属中学校(3回生)
	伝統文化教育専攻	書道教育専修		高等学校一種(書道)	協力校(高等学校)(3回生)
		文化遺産教育専修		中学校一種(理科)・ 中学校一種(美術)の いずれかひとつを選択	協力校(中学校)(3回生)

(備考)
1.専修ごとの入学者数によって、教育実習校(附属学校、協力校)については実習先を変更する場合があります。
2.伝統文化教育専攻の教育実習校は、協力校を原則としており、所属学生が協力校(出身学校等)の内諾を得て、実習を実施することとなります。
3.卒業要件教員免許状以外の教員免許状の取得に係る他校種の教育実習が必要となる場合は、原則として、免許取得希望者が協力校(出身学校等)の内諾を得て、実習を実施することとなります。

教育実習体験記

体験記 Case-1

理科教育専修4回生
杉山 海弥さん
(大阪府立寝屋川高等学校出身)

教育実習を通して苦労したことは、授業の構成です。大学の模擬授業などでは、生徒役が大学生であるため、授業もスムーズに展開出来ていましたが、実際の現場の授業では、こちらが予想していないところで生徒が躓いていました。ですから、そういった生徒の躓きを知る機会、そして、それを教師はどのように支援をするべきかを考えるきっかけとして、自分にとって教育実習はとても良かったと思います。そして、教育実習では、教師としてのやりがいを感じるとともに、多くの先生にお世話になりました。そのすべての先生が、教師としての仕事にまっすぐで、とても尊敬し、私もこのような先生になりたいと思いました。

・1回生・
・2回生・
・3回生・
卒業予定

中学校一種・高等学校一種の理科の免許取得を目指す。

【介護等体験】奈良県立盲学校(2日間)、
なら清寿苑(5日間)

介護等体験で最も感じたことは、介護従事者に対する感謝です。介護等体験をするまでは、介護の仕事がどういったものかは無知でしたが、体験を通して、介護の仕事の難しさを知り、それとともに、介護従事者に対する感謝の念が湧きました。また、介護等体験を通して学んだことは、広い視野をもつことの大切さです。介護等体験では、一つの空間に誰かの支援を求めている人が何人もいて、その人たちの支援ができるように、一点に集中することなく、広い視野を持つことが重要であると学びました。この広い視野は、教師になったときに授業等で何人もの生徒を見るときに必要な力だと思い、介護等体験を通して、教師に必要な資質の一つに気付けました。

【教育実習】奈良教育大学附属中学校・3週間

私は1年生のクラスで実習をしました。教育実習では、短いながらも、自分たちの授業に生徒が興味を示し、成長する場面が多々見えて、とてもうれしく思いました。また、授業外でも生徒とコミュニケーションをとることで、段々と生徒も親しみを持ってくれるようになり、授業でも積極的に発言をしてくれたことから、コミュニケーションの大切さを学べました。また、附属中学校の先生はこれまでに多くの実習生を送り出してきたため、実習生を教えることに関してもプロで、短い期間でも私たち実習生の教師力を育てるために、授業、学級経営、その他多くの教師として必要なことやその実践例を教えて下さって、とても勉強になりました。

スクールサポーター2級を2回生で取得しました。

★大阪府で高校理科(生物)の教諭を志望。

体験記 Case-2

幼年教育専修4回生
東谷 未来さん
(奈良市立一条高等学校出身)

教育実習では、一人一人の子どもの思いに沿った保育を考えることにたくさん頭を悩ませました。子どもの思いを叶えるためにはどのように援助すれば良いかを考え実践したことで、子どもの笑顔が見れた時には、子どもと関わることや保育をすることの楽しさをより感じました。現在の教員になりたい気持ちは100%です！奈良教育大学の附属園で子どもや保育そのものに向き合った充実した教育実習を行ったことで、保育に対する考え方が変わったことも大きな成果であると感じています。

・1回生・
・2回生・
・3回生・
卒業予定

幼稚園教諭一種、小学校教諭、(保育士資格)の免許取得を目指す。

【介護等体験】奈良県立西和養護学校(2日間)

教員が一人一人の障害について理解すること、一人一人の良さを認めること、それぞれの子どものペースに寄り添うことの大切さを学びました。障害のある子どもたちと関わることは初めての経験ではありましたが、自分が保育士になった時に、一人一人の子どもの実情を理解して、それぞれの子どものペースに合わせて保育をしたいと思える貴重な機会となりました。

【教育実習】奈良教育大学附属幼稚園・4週間

幼稚園実習は、これまで私が持っていた保育に対する概念が大きく変わった経験となりました。その中でも、保育の奥深さに気づくきっかけとなった学びが2つあります。1つ目は、子どもたちが遊びの中で、今何を楽しんでいるのかを読み取るということです。そして保育者が、子どもと同じように遊びに参加することで、その遊びがより面白くなっていくような援助をすることが大切だと学びました。2つ目は、同じ遊びをしていても子どもたち一人一人の感じる楽しさは違うということです。子どもたちの考えていることや楽しんでいることを深く理解することで、「子どもっておもしろい！保育って楽しい！」とより感じられるようになりました。子どもの世界を知れば保育が楽しくなるということを実感し、面白い考えを持つ子どもたちと関わる事のできる素晴らしい仕事だということに改めて気付けた実習となりました。

3回生の時に公立の幼稚園でアルバイトをしていた。1回生の時から、幼児と小学生対象の体操教室のボランティアをしている。

★奈良市保育教育士を志望。

キャンパスカレンダー

4月 April

□入学式
□新入生オリエンテーション
□履修登録
□前期授業開始
□健康診断
□留学生学習旅行
□就職ガイダンス（～8月）
□学生ボランティア説明会
□近畿地区国立大学体育大会（～12月）

入学式

5月 May

□学生自治会執行委員長選挙
□留学生懇談会

6月 June

□教育実習
□教員採用試験壮行会
□学生企画活動支援事業プレゼン・採択決定

教員採用試験壮行会

学生企画活動支援事業プレゼン

7月 July

□前期試験
□定期学生大会
□オープンキャンパス

8月 August

□夏季休業
□集中講義期間

9月 September

□教育実習
□履修登録

教育実習

10月 October

□就職ガイダンス（～3月）
□後期授業開始
□留学生懇談会

留学生懇談会

11月 November

□大学祭（輝蔓祭）
□開学記念日（18日）

12月 December

□冬季休業

1月 January

□卒業論文の提出

2月 February

□後期試験
□集中講義期間

3月 March

□学生表彰
□卒業式・修了式
□学年末休業

卒業式・修了式

サークル活動

多数のサークルが文化系、体育系を問わず活発に活動しています。
個人部門等で優秀な成績をあげている学生もいます。

体育系クラブ・サークル

クラブ

合氣道部／弓道部／剣道部／男子硬式テニス部／女子硬式テニス部／硬式野球部
男子サッカー部／柔道部／準硬式野球部／少林寺拳法部／水泳部／創作ダンス部
男女ソフトテニス部／ソフトボール部／卓球部／男子バスケットボール部
女子バスケットボール部／バドミントン部／男子バレーボール部／女子バレーボール部
男子ハンドボール部／女子ハンドボール部／ラグビー部／陸上競技部／ワンダーフォーゲル部

サークル

バスケットボールサークル／バドミントンサークル／フットサルサークル
アルティメットフリスビーサークル／スポーツサークル／ダンスサークル

硬式野球部

創作ダンス部

ギター・マンドリンクラブ

茶道部

文化系クラブ・サークル

クラブ

ウインドアンサンブル／合唱団コールグレイス／ギター・マンドリンクラブ／軽音楽部
劇団キラキラ座／茶道部／地歌箏曲部／書芸部／すぎのこ（障がい者問題研究会）
奈響ネプ（アカペラ部）／漫画研究会

サークル

競技かるたサークル／数学研究会／なっきょんマジックサークル／ユネスコクラブ
ボランティアサークル「ひまわりの会」／ TNP（東市・日本一・プロジェクト）
ボードゲームサークル

（令和3年4月現在）

大学祭（輝蔓祭）

秋に行われる大学祭では、各サークル・団体が模擬店・演舞・演奏会などの形で活躍するほか、
教育大らしい「子どもフェスティバル」などのイベントが行われます。

初めまして、大学祭実行委員会です。私たちは、毎年11月頃に行われる我が大学祭「輝蔓祭（きぼうさい）」の企画・運営を行う団体です。

100人を超えるスタッフが一丸となり、よりよい輝蔓祭を作るために日々活動しています。活動していく中で、多くの課題や問題を解決していき、成功した時の大きな達成感や固い絆など、ここでしか感じることのできない多くのものを得ることができます。

昨年度は新型コロナウイルスの影響により輝蔓祭を開催できませんでした。その悔しさを胸に、今年度は感染対策を徹底しつつ、学生、そして地域の子どもたちに楽しんでもらえる輝蔓祭を創りあげていきます。

奈良教育大学に入学された際には、ぜひとも私たち大学祭実行委員会のスタッフと一緒に輝蔓祭を盛り上げていきましょう。

皆様のご入学を心よりお待ちしています。

■大学祭実行委員長
大槻 凌

学生生活

奈良教育大学では、多様な面から学生生活をサポートします。
気軽に相談して、どんどん活用してください。

学生宿舎

自宅通学が困難な学生のために、国際学生宿舎（日本人学生と外国人留学生の混住）と橘宿舎（女子）があります。

国際学生宿舎外観

橘宿舎外観

橘宿舎内観

	国際学生宿舎	橘宿舎（女子）
定員	男子70名/女子30名	64名
居室数	男子70室/女子30室	64室
居室定員	1名（個室）	
宿舎料（月額）	4,700円	個室A 6,000円 個室B 15,000円
維持管理費（月額）	5,000円	4,700円
入居期限	2年	
食費	寮食は提供していない	
その他光熱水費等	共同利用部分の経費＋別途個室の経費	
通学時間	徒歩10分	徒歩3分

（令和3年4月現在）

奨学金

人物・学業ともに優秀で、かつ経済的に修学が困難と認められる学生には、学費援助の一環として次のような奨学金制度がありますので活用してください。

◆日本学生支援機構給付奨学金

1か月　第Ⅰ区分　29,200円（自宅通学）、66,700円（自宅外通学）、授業料全額免除
　　第Ⅱ区分　19,500円（自宅通学）、44,500円（自宅外通学）、授業料2/3免除
　　第Ⅲ区分　9,800円（自宅通学）、22,300円（自宅外通学）、授業料1/3免除

◆日本学生支援機構第一種奨学金（貸与・無利子）

1か月　自宅通学　20,000円、30,000円、45,000円
　　自宅外通学　20,000円、30,000円、40,000円、51,000円

◆日本学生支援機構第二種奨学金（貸与・有利子）

1か月2万円～12万円（1万円単位）から選択。

その他、地方公共団体や各種法人からの奨学金制度もあります。

奨学金貸与者数

区分		貸与者数
日本学生支援機構	給付奨学生	145
	第一種奨学生	240
	第二種奨学生	161

入学料・授業料

入学料は282,000円で、授業料は年額で535,800円です。学部生（留学生を除く）については、令和2年度から、国が行う「高等教育の修学支援新制度」により、「授業料（新入生については入学料も含む）の免除または減免」と「給付奨学金」の支給がセットになった制度があります。

◆令和2年度には、在学生の19％が免除を受けています。

学生教育研究災害傷害保険・付帯賠償責任保険

全国規模の補償制度として、授業中、大学主催行事中、キャンパス内での移動中、休憩中、キャンパス内外でのサークル活動中並びに通学中に生じた事故に適用され、傷害の程度に応じて保険金が支払われるものです。万が一、他人にケガをさせたり、他人の物を壊したりしたとき法律上の損害賠償責任を負った場合に保険金が支払われるものです。

その他の学生支援

ボランティア

近隣の教育委員会等と協定を結び、教育現場へ、積極的に学生ボランティアを派遣しています。毎年、約100名の学生を派遣しています。

ボランティア活動の様子

学生企画活動支援事業

学生の企画力・実践力・社会性を高めるため、学生自らが企画する事業に対し、大学が経済的支援を含む各種支援を積極的に行っています。

学生企画活動支援事業「秋のおでかけ　障害を持つ子どもたちに笑顔を～互いに学び支えあおう～」

「キャンパスメンバーズ」制度

学生証を提示することで、「奈良国立博物館」が実施する名品展が何度でも無料で観覧できる他、種々の特典があります。

奈良国立博物館

学生の一日

奈教生のキャンパスライフを紹介します。

学生の一日①「下宿生活」

幼年教育専修3回生
久保 かのんさん
（私立
京都共栄学園高等学校出身）

■ 通学時間／自転車5分
■ 所属クラブ／大学祭実行委員会
■ アルバイト／週2回・大学図書館

下宿をしていると、掃除・洗濯・自炊などの生活力が身につきます。実際に就職して働き始めてからの一人暮らしでは、新しい環境に慣れることに精いっぱいだと思います。大学生のうちから下宿をして生活力を身に付けておくことで、仕事に専念できるようになるのではないかなと考えています。しかし、生活が乱れても注意してくれる親がいないので、寝坊してしまったり夜更かししてしまったり。1コマの遅刻には要注意です（笑）

毎日家事などをきちんとしようと思うとなかなか続かないので、うまく手を抜いたり友達とホームパーティーをしたりしながら一人暮らしを楽しむことがおすすめです!!

一日のスケジュール

- 8:00 起床
- 8:50 家を出る（雨が降っていなければ自転車で行きます）
- 9:00 授業開始（この日は1～3コマまで授業があります）
- 12:15 友達と生協食堂で昼食（家に帰って残り物を食べる時もあります）
- 14:35 大学祭実行委員会の部屋でダラダラ～
- 17:00 アルバイト
- 21:00 帰宅
- 21:15 課題をしたりご飯を食べたり
- 23:30 就寝

学生の一日②「自宅通学」

数学教育専修4回生
田川 智也さん
（私立
大阪明星高等学校出身）

■ 通学時間／自宅→徒歩10分→（最寄駅）→電車約30分→（乗換）→電車約10分→（JR奈良駅）→自転車約15分→大学　計約65分
■ 所属クラブ・サークル／男子ハンドボール部
■ アルバイト／週3回・フィットネスジム、家庭教師

私の通学時間は約1時間程度です。しかし、乗り継ぎが良くなければもう少しかかってしまうので行き帰りの電車をあらかじめ調べておくことがかなり重要になってきます。電車を気にしながらの生活は息苦しいように聞こえますが、制限がある分限られた時間をどのように使おうかという時間管理がかなり上手になると思います。また、友人と通学する時間や読書の時間等は有意義な時間だと感じます。しかしながら、やはり電車で勉強するよりも下宿して家で勉強するほうが効率よく勉強できると感じ、下宿したいと思うことも多々あります。

私は自宅通学でも、バイト、勉強、部活動等には3年間大きな支障なく行うことができたので、その点に関しては、自宅通学でも問題ないと思います。

一日のスケジュール

- 6:00 起床
- 7:00 家を出る（通学中は課題や読書の時間に活用しています）
- 9:00 授業開始（この日は1～3コマまで授業があります）
- 12:15 友達と生協食堂で昼食（温玉ネギトロ丼と大学芋がお気に入りです）
- 13:05 3コマ目開始
- 14:40 図書館で学習
- 16:20 クラブ活動（男子ハンドボール部に入っています。リーグ昇格に向け、楽しく練習に励んでいます。私含め大学から始めた学生がほとんどを占めているので、未経験者でも気軽に始めることができる部活動です。新入部員大募集中です!!!）
- 20:00 帰宅（手作りのごはんがあるのは、自宅生のうれしいところです。）
- 21:00 学習・自由時間（レポート課題や授業の予習が終われば、自由時間です）
- 23:00 就寝

学生の一日③「学寮生活（国際学生宿舎）」

数学教育専修2回生
白髭 洋介さん
（私立天理高等学校出身）

■ 所属クラブ・サークル／陸上部
■ アルバイト／週5回・塾講師、コンビニ

大学入学当初から寮で下宿をしていますが、寮のいいところは、寮でしかできないつながりがあるところだと思います。寮には色々な専修や留学生の方もいるため、知り合いの幅が広げられると思います。また、共同生活なので困ったときには周りに頼れる人がいて、初めての下宿でも安心して生活できると思います。

家事やお金の管理など生活力が身につくということも下宿の魅力だと思います。しかしそれは苦労する点でもあり、下宿を始めたころは毎日続けていくことが大変でした。それを解決するためには、うまく手を抜いたり、賄いがもらえるバイトを探したりするなど、生活していく中で、自分なりの方法を見つけるのが一番です。

最初は大変でしたが、慣れてきてからは、とても楽しく暮らしやすいです。下宿をしようと思っている方は、寮での生活も考えてみてください。

一日のスケジュール

- 7:30 起床
- 8:45 家を出る
- 9:00 授業開始（この日は4コマまで授業があります。）
- 12:10 友達と昼食（同じ専修の友達と生協食堂で昼食をとります。忘れ物をしたらこの時間に取りに帰れます。）
- 13:00 午後の授業開始
- 17:00 部活動（陸上部です。先輩、後輩関係なく仲良く練習しています。初心者大歓迎です。来てください。）
- 19:30 帰宅（夕食や入浴などを済ませます。）
- 20:30 学習・自由時間
- 24:00 就寝

学生の一日④「学寮生活（橘宿舎）」

社会科教育専修3回生
久岡 華子さん
（長崎県立
諫早高等学校出身）

■ 所属クラブ・サークル／援農サークル
■ アルバイト／週3回・学童

私は橘宿舎で生活をしているため、他専修の同級生との交流もありますが、先輩や後輩との交流もあり、とても楽しく過ごすことができます。特に、学校から近いので通学にはとても便利です。橘宿舎には、一人暮らしに必要な冷蔵庫や洗濯機、エアコンなどといった設備も充実しています。また昨年から各部屋にwi-fiが設置されたので、オンライン授業の時でも快適に受けることができるようになりました。もしわからないことがあれば、学生支援課の職員の方が週に3回寮に来てくださるので、初めての一人暮らしでも安心して過ごしやすい環境だと思います。

一日のスケジュール

- 7:30 起床（1コマ目がある時）
- 8:40 家を出る
- 9:00 授業開始（この日は1～3コマまで授業があります）
- 12:15 友達と昼食
- 14:35 授業終了、下校
- 15:00 アルバイト
- 19:30 帰宅（夕食や入浴を済ませます）
- 21:30 学習・自由時間（レポート課題の作成や寮の友達とおしゃべりをするなどをしています）
- 24:00 就寝

「奈良のここが好き！」

上記の4名に、奈良の好きなところやおすすめスポットを聞きました。

奈良のおすすめスポットは「カナカナ」です。ほぼ休みなしのご飯屋さんで、めちゃめちゃ健康的なランチが食べられます。下宿生活だと偏った食生活になりがちです。たまに食べに行っておいしい健康的なご飯を食べて感動するのが大好きです。（久保）

奈良県はラーメンが美味しいという点で好きです。おすすめのお店は大学から少し離れた場所ですが、まりお流ラーメンというお店です。魅力はスープの濃さです。今まで食べたラーメンの中では断トツで一番濃いラーメンだと思います。ラーメンが好きで自分の胃に自信のある人は行ってみてください。大学付近にも、あっさりからこってりまで多くのラーメン屋さんがあるのでぜひラーメン巡りをしてみてはいかがでしょうか。（田川）

奈良は歩いているだけでたくさんの歴史的な建物や、おしゃれなお店などに出会うことができます。僕は夜にランニングをすることがあるのですが、その時は東大寺の前や、春日大社などを通ることがあります。ランニングで世界遺産巡りができるのは奈良ぐらいだと思うので、皆さんも試してみてください。（白髭）

大学は元興寺や興福寺など世界遺産に囲まれており、歴史を感じることができます。また、ならまち周辺には古民家を改装したカフェもあり、景観は崩さずとも現代に合わせておしゃれな街になっているのもオススメです。カフェ巡りをしてみてもとても楽しいと思います！（久岡）

国際交流

学生交流・外国人留学生

近年、我が国では諸外国との学術・文化等の国際交流が活発に行われています。本学においても、国際交流協定校への学生の派遣や外国人留学生の受け入れ等、国際交流の推進に積極的に取り組んでいます。

学生交流

国際交流の一環として、世界6ヶ国10大学との間で学生相互交流に関する協定を締結し、毎年学生の相互交流をしています。協定校へは、学生を約1年間派遣しています。

国際交流協定校名	国名
嶺南大学校	韓国
公州大学校	韓国
西安外国語大学	中国
華東師範大学	中国
香港教育大学	中国
リヨン第三大学	フランス
ハイデルベルク大学	ドイツ
ブカレスト大学	ルーマニア
ロックヘイブン大学	アメリカ
セントラルミシガン大学	アメリカ

派遣先国別一覧

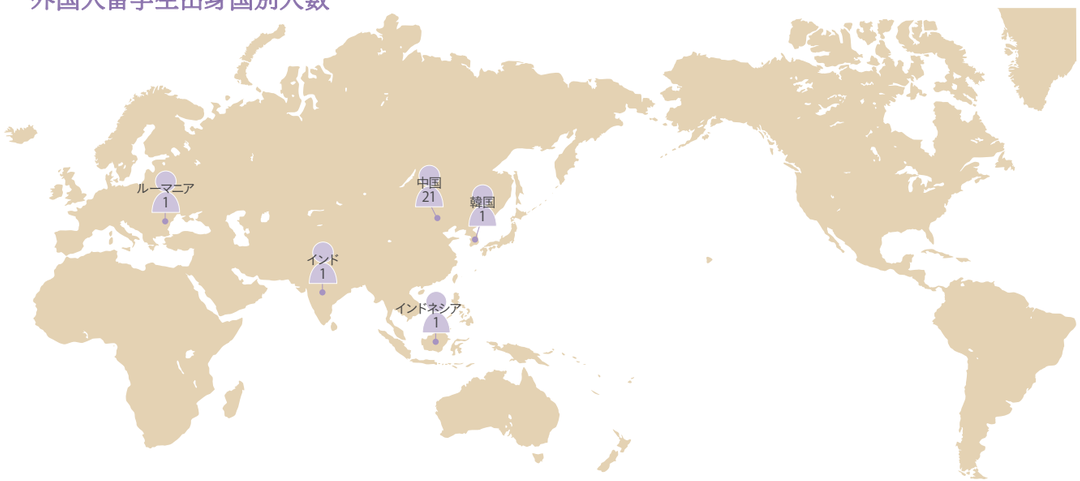
年度／国別	アメリカ	ドイツ	フランス	中国	合計
令和元	2	1			3
令和2					※
令和3	3		1		4

※新型コロナウイルス感染症のため派遣中止

外国人留学生（令和3年5月1日現在）

本学では5ヶ国から25名の留学生が学んでいます。留学生活を充実させるために、懇談会をはじめとした日本人学生との交流イベントを実施しています。

外国人留学生出身国別人数



ユネスコスクール活動

ユネスコ憲章に示された理念を学校現場で実践し、若者が地球規模の諸問題に対処できる力を育てる学校がユネスコスクールです。世界に11,500校以上、日本では約1,100校がユネスコスクールに加盟しています。奈良教育大学は、日本の大学として最初にユネスコスクールに加盟した大学として、持続可能な開発のための教育（ESD）の研究と推進に取り組んでいます。その一つとして、近畿ESDコンソーシアムを組織し、ESDが指導できる教員の養成、現職教員の研修を実施してESDティーチャーを認証するなど、持続可能な開発目標（SDGs）の達成に貢献しています。

留学体験記

留学先／ドイツ ハイデルベルク大学
留学期間／令和元年9月～令和2年3月

数学専修4回生
亀井 望太さん
（清風学園高等学校出身）

シュタイナー教育というドイツ文化の中で形成発展してきた教育学を勉強しにドイツに留学しました。ハイデルベルク大学附属の語学学校でドイツ語の勉強をしながら、専門の数学や教育学の研究をしました。語学学校の授業では、外に出てネッカー川のほとりでゲーテの詩を覚えたり、クラスのみんなでパンやお菓子などを持ち寄ってドイツ語パーティをしたりしました。留学当初はあまりうまくドイツ語を話せませんでしたが、趣味のカードマジックをコミュニケーションツールに、様々な国から来た留学生と知り合いになることができました。半年間でかなりドイツ語を話せるようになったと思います。また、ドイツではいま、移民が問題になっています。現地の人から移民についての意見を聞くことができ、勉強になりました。ドイツの公教育で使用されている教科書も買いました。日本で引き続き研究しようと思います。ドイツの教育学の勉強を通して、日本の教育現場でも使える新たな視点を得られました。

大学院案内

※下記の内容は、令和4年4月に予定している大学院改組後のものです（設置計画申請中）。

大学院教育学研究科（修士課程／専門職学位課程）の目的と特色

奈良教育大学では、学部での教員養成だけでなく、大学院における、より広く高い水準の専門性を有し、豊かな人間性と高度の専門的教養を備え、教育の理論と実践に関する優れた能力を有する教員及び教育者の養成を行っています。本学の教育学研究科には修士課程と専門職学位課程（教職大学院）の二つの課程が設置されています。

〈用語解説〉教職大学院:実践的な指導力を身に付けた新人教員や学校運営の中核を担うスクールリーダーの養成を目的とする大学院。

修士課程

学位

所定の専攻において定められた単位（30単位以上）を修得し、修士論文の審査及び最終試験に合格した場合、奈良教育大学大学院教育学研究科を修了したものと認定され、修士（教育学）の学位が与えられます。

育成する資質能力

(1)伝統文化の持続発展や国際理解教育の発展に貢献する高度な知識・技能、思考力・判断力・表現力
(2)伝統文化やその教育、国際理解教育に関わる課題を探求・解決し、それらについて専門性を深めることができる研究力
(3)教育の立場から多文化共生社会の実現やSDGsの達成に貢献できる力量

特色

- 書道を含む伝統文化の継承と発展への貢献
- 国際理解教育に基づく多文化共生社会の創造への貢献
- SDGｓの達成への貢献
- 日本人学生と留学生の共修

修了後の進路

研究を進めるために他大学の博士課程等に進学する者、研究者、企業就職・公務員就職、国宝・重要文化財の修復に携わる修復技術者、母国の日本語教師等を想定しています。

専門職学位課程（教職大学院）

学位

本課程で所定の単位（46単位以上）を修得し、作成・発表された学位研究報告書の質的レベルが十分な基準に達していると判断されたとき、奈良教育大学大学院教育学研究科を修了したものと認定され、教職修士（専門職）の学位が与えられます。

養成する資質能力

「『持続可能な社会づくりの担い手』を育成できる高度な専門性と実践力を兼ね備えた教員」を養成するため、
(1)教育課題を探求し解決できる研究力と高度な実践力
(2)自らが掲げた「身に付けたい資質・能力」
(3)専門的知見と実践力を生かし、これからの新しい学校教育を牽引できる高度な実践力
という3つの力の育成を目標としています。

特色

大学院生が入学時に決めた課題の解決に向けて、大学と連携協力校がチームを組み、複数の教員で指導に当たります。したがって、大学内での講義のほかに、連携協力校など大学外で学ぶ機会が多くなります。

ICTの活用能力やESDの推進等、最新の教育課題について学ぶことができます。

教員免許状

現在取得している教員免許状（一種）を基礎に、幼稚園、小学校、中学校（各教科）、高等学校（各教科）、特別支援学校の専修免許状を取得することができます。
※教職課程認定申請中。文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

小学校教諭一種免許状又は特別支援学校教諭一種免許状を有していない学生を対象に「教員免許取得プログラム」も開設されています。ただし、教員免許取得プログラムでは、修学期間に応じた授業料が必要です。

充実した就職支援

気軽に相談できるオープンな環境を整え、学生の就職を全力で支援します。

奈良教育大学は、教員養成を専門とする国立大学です。就職支援室は、「教員になりたい」という想いをもって本学で学ぶ学生の夢を実現させるために、多面的な支援を行います。小規模大学だからこそできるきめ細やかな、一人一人に応じた丁寧な就職支援を通して、毎年高い水準の教員就職率と採用試験合格率をあげています。教師を目指す皆さん、どうか安心して奈良教育大学に入学してください。

在学中には、進路に対する悩みや不安と向き合うことになるかもしれません。また、公務員や、一般企業への就職に進路が変わることがあるかもしれません。そんなときも、本学のスタッフが、皆さんを温かく支えます。

就職支援室では、就職を支援する様々な取り組み（各種セミナー、ガイダンス、試験対策等）を、年間を通して行っています。また、3 名のキャリア・アドバイザー（小・中・高校の元校長）や企業就職を専門とする相談員による個別指導も大変充実しています。

また、予約のオンライン化、講座のオンデマンド受講など、デジタル化もすすめており、学生の利便性を上げています。

就職という夢が叶ったときの感動は、それまでの人生において経験したことがないほど大きいものです。学生が夢を叶えたとき、本学のスタッフもまた、喜びの気持ちでいっぱいになります。感動の日をともに迎えられるよう頑張りましょう。

学長補佐(就職担当)
藪 哲郎

キャリアサロン　メニュー

	相談（キャリアカウンセリング）	情報提供	主なセミナー、ガイダンス
教員等就職関係	□キャリアアドバイザーによる教員採用試験対策（面接、討論、模擬授業、マナー指導など） □キャリアアドバイザーによる教員等就職相談 □ 3 回生全員を対象とした個別相談 □教員採用エントリーシート、小論文の添削 **〔相談日〕** 毎週月～金曜日　10:00 ～ 19:00	□教員採用試験等の資料閲覧コーナー □各都道府県等の採用募集要項、教師塾等の情報提供 □過去問題の閲覧、教員採用状況等 □教員採用試験関係雑誌 □教採受験生による受験報告書 □小、中、高校の教科書 □私学等の教員採用情報 □関係資料の貸し出し等	□教員採用模擬試験 □幼保採用模擬試験 □教員採用直前対策講座 □春、秋の 3 回生向け教採ガイダンス □教員採用対策セミナー □ 4 回生向け教採特別プログラム □模擬面接・模擬討論・模擬授業 □実技対策講座 □教採壮行会
企業・公務員関係	□相談員による企業等向け就職個別相談（企業等進路全般、就職活動、職種相談、進路に関する相談など） **〔相談日〕** 水曜日（不定期）13:00 ～ 16:30	□企業等求人票 □就職に関する書籍、雑誌の閲覧 □企業パンフレット（会社概要） □各府県等の公務員採用関係情報	□企業等向けガイダンス（ガイダンス、面接、グループディスカッション、マナー指導、企業情報など） □公務員ガイダンス

教員就職対策

3回生の春から翌年の8月中旬まで30回以上にわたって、上記のセミナー・ガイダンスを通じた支援を実施します。

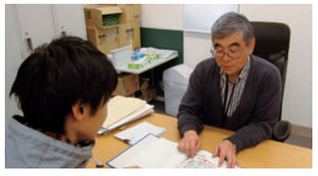
また、本番と同様の形式で行う模擬集団面接、模擬集団討論、模擬授業のほか試験対策セミナーによる支援を行っています。
(試験対策セミナーの一例：教職教養、小学校全科、中高学習指導要領)

企業等就職対策

3回生の春から約1年間にわたって、職務適性分析、企業研究、エントリーシートの書き方、マナー、面接対策など幅広い講座や情報提供による支援を行っています。

ボランティア・サポート・オフィス

ボランティア・サポート・オフィスでは、社会参画ボランティアのサポートを行っています。



教員採用試験合格体験記

奈良県 教員採用試験（小学校）合格

東尾 彩夏さん
（家庭科教育専修・2021年3月卒業）

私が教員採用試験の準備を始めたのは、3 回生の秋からです。試験内容には筆記試験や集団討論、実技試験、個人面接などがあり、どのように計画を立てて対策を進めるべきか最初は不安でした。ですので私は、キャリアアドバイザーの先生や先輩方に勉強方法のアドバイスをもらいに行くことからはじめました。試験が終わるまで、周りの友達や先生方とのコミュニケーションをできるだけ多くとり、今何をすべきかをしっかり定めるように心がけていたことで、焦りすぎずに取り組めたと感じています。また昨年度は、新型コロナウイルスの影響で非対面での面接練習に切り替わり、戸惑うこともありました。しかし、画面越しでもキャリアアドバイザーの先生方が丁寧にご指導くださり、最後まで勇気づけてくださりました。また友達同士で面接練習を繰り返したことも、合格に繋がったと思っています。

私は、この教員採用試験の経験を通して、教員を目指す仲間の多いこの環境で試験対策ができることは、本当に心強いものだと感じました。この奈良教育大学で、先生方や先輩方、友達からたくさんのアドバイスをいただきながら、自分で考え、意見を持つことで、目指したい先生像が定まったと感じています。

教員就職対策スケジュール（令和2年度～令和3年度(予定)）

- 10月 October　■教採ガイダンス
- 11月 November　■教職教養対策セミナー（～1月）　■模擬試験①
- 12月 December
- 1月 January　■模擬試験②
- 2月 February　■模擬試験③
- 3月 March　■小学校全科対策セミナー　■幼稚園対策セミナー　■中学校・高校対策セミナー　■模擬試験④
- 4月 April　■教育委員会による教員採用試験説明会（～5月）　■模擬試験⑤⑥　■教採対策特別プログラム（～5月）
- 5月 May　■模擬試験⑦　■小学校実技対策（～8月）　■教採直前対策講座
- 6月 June　■模擬試験⑧　■模擬集団面接　■教採壮行会　■模擬集団討論
- 7月 July
- 8月 August　■模擬授業
- 9月 September

教職教養対策講座

小学校実技対策

企業等就職対策スケジュール（令和3年度(予定)）

- 4月 April　■4回生向けキャリアガイダンス
- 5月 May　■3回生向けキャリアガイダンス（3回）　■3回生公務員向けガイダンス　■企業個別相談（～7月）
- 6月 June
- 7月 July
- 8月 August
- 9月 September
- 10月 October　■3回生向けキャリアガイダンス（7回）　■業界・職種・企業研究　■企業個別相談（～3月）
- 11月 November　■自己分析　■自己PR　■企業エントリー　■ビジネスマナー
- 12月 December　■グループディスカッション面接
- 1月 January
- 2月 February
- 3月 March

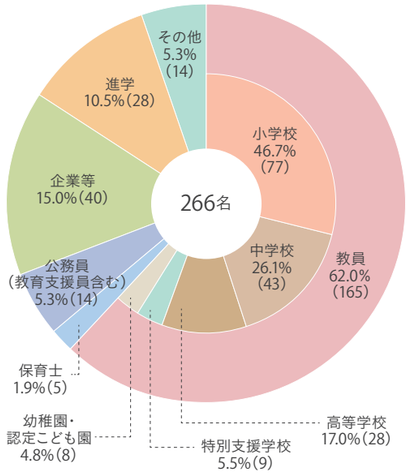
面接マナー講座

進路状況

令和3年3月卒業者の進路状況

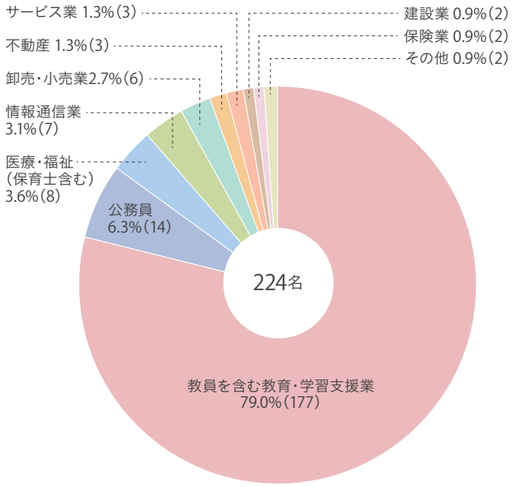
【進路状況】

（　）内は人数



【就職者の産業別内訳】

（　）内は人数



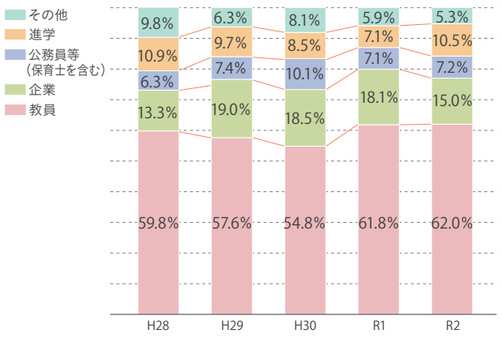
教員就職者の都道府県別内訳

都道府県名	奈良県	大阪府	兵庫県	京都府	広島県	沖縄県	宮城県	静岡県	愛知県	三重県	香川県	秋田県	富山県	長野県	滋賀県	和歌山県	岡山県	山口県	徳島県	合計
採用人数	65	50	13	11	5	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	165

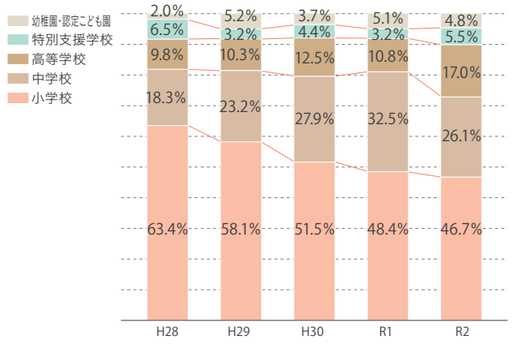
■教員以外の主な就職先／奈良市役所、大阪市役所、長崎県警察署、大阪広域水道企業団、馬渕教育グループ、株式会社京進、明治安田生命保険相互会社、伊藤忠アーバンコミュニティ株式会社、三井ホーム株式会社、くら寿司株式会社、SOMPO ケア株式会社

過去5年間の進路状況

【進路状況】



【教員就職者の校種別内訳】



※小数点第2位以下を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

卒業生からのメッセージ

Message-1

「教師は「経験」が命！ 子供と共に学べる教員へ」

奈良市立
平城中学校勤務
上西 竣さん
（数学教育専修
平成31年3月卒業）

高校1年生の三者懇談で「将来なりたい職業はありますか？」と担任の先生から尋ねられ、「数学の教員になりたい」と決意した私は、昨年奈良教育大学を卒業し、現在奈良市立平城中学校で働いています。講師経験もなし、授業回数も教育実習で行った十数回程度の私が担当したのは中学3年生でした。初めは「自分のやらなくてはいけない仕事も分かっていないのに、高校受験を控えた中学3年生を担当することなんて自分にはできるのか。」と不安でした。しかし、その不安は次第に小さくなっていきました。その理由は奈良教育大学での経験でした。

大学では、教師に必要な教養や能力を学びました。また、部活動にも所属しながら塾や飲食店のアルバイトをし、授業のない時間に小学校へ授業支援のボランティアをしたこともありました。更に教員採用試験対策として、現場で教員をされていた就職支援アドバイザーの方の話を聞いて学んだ経験もあります。そうした色々な経験を学生の時期にしたからこそ、今自信を持って生徒たちの前に立つことができています。

教師にとって「経験」が大事であるのと同じく、生徒にとっても「経験」はとても大事です。様々な「経験」を生徒にさせ、生徒と共に学んでいこう。これが、今の私の目標です。

後輩に一言

同じ「教師になる」という夢・志を持った仲間と共に学べる、これが奈良教育大学の1番の強みだと思います。それは仲間だけでなく、大学の先生や職員の方々も私たちの夢・志を全力で応援してくださります。是非、あなたも奈良教育大学で教師を目指してみませんか？

Message-2

「人と出会い、経験を積んで感性を磨こう！」

奈良県立
明日香養護学校勤務
伴 早梨那さん
（特別支援教育専修
令和2年3月卒業）

私は小学部6年生のクラス教員として勤務しています。子どもたちとの関わりに喜びを感じながらも、動作の学習や医療的ケアなど慣れないこともあり不安がありました。そんな中で、チームティーチングが心の支えとなっています。毎日他の先生方の授業や子どもたちとの関わり方を観察したり、他の先生方に自分の授業のアドバイスをいただいたりすることができています。また一人ひとりの子どものよさや可能性を伸ばしていき、その成長を自分のことのように共感して喜べるところが魅力だと思います。

大学生活を思い返すと、部活動やボランティアにも取り組み、楽しんで充実した日々を過ごすことができました。教師になりたいという夢に向かって励ましあい、高め合うことができた仲間はもちろん親身なって指導してくださる先生方のサポートがあったからだと感じています。教員採用試験対策では、キャリアサロンや大学の先生に模擬授業や面接指導をしていただきました。不安な気持ちに寄り添って相談に乗ってくださり、様々な経験談で私の教師像を広げていただきました。大学を卒業してからも、出会った人との繋がりは自分にとってかけがえのないものだと感じています。これからも大学で得たことを活かして、情熱をもって一人ひとりの子どもたちと関わり、子どもたちの願いに寄り添っていきます。

後輩に一言

奈良教育大学では教師になるための環境が整っています。また同じ夢や志をもった仲間や親身になって応援してくださる先生方との出会いが待っています。ぜひ、奈良教育大学で夢に向かって充実した日々を過ごしてください。

Q&Aコーナー

Q 単位とはどのようなものですか？

A 単位とは授業科目ごとの授業時間数と学修の量を示すもので、1単位は教員が教室等で授業を行う時間と、学生が教室外で準備学習・復習を行う時間を合計して、45時間の学修の内容で構成されています。所定の授業科目の単位を卒業要件に従って修得することになります。また成績評価は、A、B、C、D、及びEの5段階の評語をもって表し、A、B、C、及びD を合格とし、単位を認定します。

1年間に受講登録できる単位数に関しては、授業時間外の学習時間を確保する観点から原則として50単位としています。

また、受講登録の前年度の修得単位数合計が40単位以上かつグレードポイントアベレージ(GPA)が高かった学生については、登録できる単位数が増えたり、年次制限を超えて翌年次開講の科目を登録できる制度を設けています。

Q 教育実習はどのように行われますか？

A 教員免許状取得のためには教育実習は必修となっています。皆さんの卒業要件単位で取得できる教員免許状取得に係る教育実習については、原則として3回生の6月あるいは9月に3〜4週間の実習が行われます。

ただし、教育発達専攻の特別支援教育専修の特別支援学校での教育実習、及び伝統文化教育専攻の書道教育専修の高等学校での教育実習は、3回生で2週間の実習となります。

なお、教育実習を行うにあたっては、実習の前年度末までに、実習に必要な所定の科目を含め70単位以上を修得していなければなりません。

Q 入学する前に、どのような授業があるのか知る方法はありますか？

A シラバスを公開〈http://www.nara-edu.ac.jp/ADMIN/KYOUMU/syllabus.htm〉していますので、希望の条件で検索してください。また、一部の授業においては見学が可能となっております。公開している授業や申込方法等、詳細については本学ホームページでご確認ください。

Q 授業に必要な教科書はどうやって用意するのですか？

A 基本的に教科書等は担当教員の指示やシラバスの記載に基づいて、受講者自身で用意することとなります。多くの授業においては指定の教科書が生協書籍部に発注されていますので、各授業担当教員の指示によって生協書籍部等で購入することとなりますが、教科書を使用しない授業もあります。

Q 就職に向けてのサポートはどのようなものですか？

A 本学では教員・公務員・企業就職を目指す学生に対して、就職支援室を中心として様々な就職支援や情報提供を行っています。教員就職希望者、企業就職希望者それぞれに対応したガイダンスの実施や、模擬面接、模擬試験などを行っています。

教員就職の支援

筆記試験対策として各種のガイダンスや模擬試験、人物評価対策として模擬面接や模擬授業、近隣の教育委員会から講師を招いての受験説明会等を実施しています。

企業就職の支援

外部講師を招き、企業就職するための初歩的な事項から内定を得るまでの各種ガイダンスや、面接指導・グループディスカッションなどの実践的指導を行っています。

就職支援の取組

教員、企業とも人物重視の厳選採用が行われています。希望する職に就くためには自らの早期取組や対策が必要です。大学では、職業意識の啓発・醸成に資するための取組として、キャリア教育科目「教職へのキャリアデザイン」を開講しています。一人でも多くの学生が受講し将来の職業選択に役立てるようにしてください。

多くの就職支援ガイダンス・セミナーは、就職希望者の意識の高揚を図るために、参加できる学年を限定していません。早めの対策が良い結果に結びつきますので、入学後も継続して自己研鑽に励んでください。

Q アルバイトは、入学後すぐに紹介してもらえるのでしょうか？

A 本学では、学生情報センターが運営する「学生アルバイト情報ネットワーク(バイトネット)」に加入しており、学生は、アルバイト紹介システムから求人情報を閲覧することができます。なお、新入生については、大学生活の順応と学業優先の観点から、9月以降にアルバイトを行うように指導しています。また、危険を伴うものや、教育的に好ましくない職種については、アルバイトを行うことはできません。

家庭教師のアルバイトについては、保護者からの直接求人のみを受け付けており、依頼があったときに学生支援課窓口で掲示によりお知らせします。

Q 寮は希望したら必ず入れるのでしょうか？

A 通学時間、保護者の収入等により選考を行い入寮者を決定します。入寮希望者が多い場合や、選考基準外の場合は、入寮できないことがあります。

Q 自動車での通学はできますか？

A 大学への自動車での通学は原則認めていません。ただし、現職教員の大学院生でやむを得ないと認めた場合、身体的理由により常時自動車通学が必要な場合には許可することがあります。また、病気・ケガなどの身体的理由や実験・調査、その他授業や課外活動のため一時的に自動車が必要と認めた場合には、臨時入構許可をします。

資料請求方法

以下より、学生募集要項等の資料を請求できます。
その他の請求の方法については、奈良教育大学ホームページ内の「入試関係資料請求」(https://www.nara-edu.ac.jp/admissions/claiml.html)をご覧ください。

テレメールによる資料請求方法

インターネットからhttps://telemail.jpにアクセスし、ガイダンスにしたがってご請求ください。
資料はおおむね3〜5日で届きます。(発送開始前の請求を除く)
また、地域や郵便事情によってはお届けに1週間程度要する場合があります。

〔資料請求番号〕
入学者選抜要項 585670(料金(送料含む)180円)
総合型選抜学生募集要項 585660(料金(送料含む)215円)(7月上旬発送予定)
料金は、お届けする資料に同封の支払方法に従い、資料到着後2週間以内にお支払いください。
※料金のお支払い時に手数料として、コンビニ支払いとスマホアプリの請求書支払い(LINE Pay、PayPay、au Pay)は88円、ケータイ払いとクレジットカード払いは50円が別途必要です。
ケータイ払い、クレジットカード払い、コンビニ支払いは、1回分の手数料で、複数資料の料金を同時に支払うこともできます。ゆうちょ銀行・郵便局での通常払込み(ATM・窓口)もご利用になれます。

テレメールでの資料請求に関するお問い合わせ
テレメールカスタマーセンター　IP電話050-8601-0102(受付時間9:30〜18:00)

モバっちょによる資料請求方法

https://djc-mb.jp/nara-edu2/にアクセスし、ガイダンスにしたがってご請求ください。

入学者選抜要項・大学案内(送料350円)
総合型選抜学生募集要項(送料250円)(7月上旬発送予定)　※料金は変更になる場合がございます。
携帯払い・スマホ払い・クレジットカード決済は50円、コンビニ後払いは126円の手数料が別途必要です。(資料毎)
携帯払い・スマホ払いは機種、携帯電話会社との契約状況によって、ご利用になれない場合がございます。
その場合はコンビニ後払いを選択してください。

キャンパスマップ／附属施設・設備

保健センター／健康増進のための指導・助言を行うとともに、性格、家庭、対人関係等広く相談に応じるため、専門のカウンセラーを配属しています。

吉備塚古墳／学内北側に位置する吉備塚古墳は、6世紀初頭頃築造されたと考えられ、古くから吉備真備の墓として伝承されてきました。近年、数回に渡る調査が行われ、多くの鉄製品など遺物が出土しています。

次世代教員養成センター1号館（③）・2号館（④）／ICT活用を含む実践的教育力・指導力及び課題探究力の向上、学び続ける教員の質保証に関わる事業及び研究開発を行うことにより、21世紀社会をリードする人材である次世代の教育を担う教員の養成を推進しています。

図書館／学術書の他、教科書、小説等幅広い分野の図書・雑誌を約35万冊所蔵し、電子ジャーナル・電子ブックも提供しています。館内には、アクティブラーニング実践の場として、ラーニング・コモンズやグループ学習室、幼年教育実践の場として、えほんのひろばがあります。

学生会館／談話室や和室、集会室があり、学生同士の交流や学生と教職員との親睦を深め、学生生活をより充実させるために活用されています。

学生食堂／「なっきょん食堂」と呼ばれ、学生の憩いの場となっています。購買部等を併設しており、文具等、学生生活に必要なものを購入することができます。

理数教育研究センター／地域や現場と一体となり、理数教育プログラムの開発、SST（スーパーサイエンスティーチャー）養成、公教育の支援のほか、理工系大学・研究所との連携や国際協力等の事業を展開しています。

情報館（次世代教員養成センター）／情報基盤（情報ネットワークや基盤サーバ等）の運用管理を担っています。メールや無線LAN、対外インターネット接続等のサービスのほか、約240台の共同利用PCを整備し、教育・研究のための共同利用環境を提供しています。

教育資料館／我が国の学制発足以降における奈良県下の初等中等教育に関する資料を中心として、教育関係資料を収集、整理し、展示等を行っています。博物館関係授業の実習等及び課外活動の発表の場としても利用されています。

講堂／入学式、卒業式などの他、課外活動にも活用されています。学生の間では「バルテノン」と呼ばれています。

新薬師寺旧境内遺跡／学内北東隅に位置する新薬師寺旧境内遺跡は、平成20年に行われた校舎改築に伴う調査で、8世紀中ごろの奈良時代に建立された新薬師寺旧境内の金堂跡と見られています。

特別支援教育研究センター／特別支援教育に関わる理論と実践に関する教育・研究・実践機関として、特別支援教育を担う人材の育成、地域における児童生徒等の教育的ニーズに応じた専門相談・連携活動を行っています。

国際交流留学センター／文化多様性教育に関する研究・実践機関として、国際的視野を備えた教員の養成に寄与するとともに、派遣・受入留学生を支援し教員養成大学としての国際交流を推進しています。

自然環境教育センター／学生・児童・生徒および地域住民を対象とした講義・実習・公開講座の実施に加え、教育方法や教材の開発およびその他の研究活動を通し、自然教育や自然環境教育を担う人材の育成を行っています。

奈良実習園

体育施設／グラウンド、テニスコート、体育館、武道場（柔道場・剣道場）、舞踊場、プールがあり、授業やサークル活動等に利用されています。

附属小学校

附属幼稚園

建物情報　奈良教育大学・附属小学校・附属幼稚園

- R1 理科1号棟 Research Building (Science 1)
- R2 理科2号棟 Research Building (Science 2)
- R3 技術棟 Research Building (Technology)
- R4 新館1号棟 Research Building (PE)
- R5 新館2号棟 Research Building (Mathematics & Pedagogy)
- R6 新館3号棟 Research Building (Japanese)
- R7 音楽棟（B） Research Building (Music)
- R8 音楽棟（A） Research Building (Music)
- R9 美技棟 Research Building (Arts & Tech.)
- R10 美術・書道実習棟 Research & Practice Building (Arts & Calligraphy)
- R11 文科棟 Research Building (Humanities)
- R12 文美棟 Research Building (Humanities & Arts)
- R13 教職大学院棟 Research Building (School of Professional Development in Education)
- L1 講義1号棟 Lecture Building 1
- L2 講義2号棟 Lecture Building 2
- L3 講義3号棟 Lecture Building 3
- L4 講義4号棟 Lecture Building 4

1. 本部管理棟・保健センター Administrative Building / Health Care Center
2. 図書館 University Library
3. 次世代教員養成センター1号館（京阪奈三教育大学連携推進室） Teacher Education Center for the Future Generation 1
4. 次世代教員養成センター2号館 Teacher Education Center for the Future Generation 2
5. 情報館 Information Processing Facilities
6. 教育資料館 Museum for Historical Materials of Education
7. 講堂 Auditorium
8. 武道場 Arts Gymnasium for Martial
9. 体育館 Gymnasium
10. 学生会館・山田ホール Students Hall / Yamada Hall
11. 学生食堂 Cafeteria
12. 特別支援教育研究センター Center for Special Needs Education
13. 理数教育研究センター Center for Educational Research of Science & Mathematics
14. 国際交流留学センター Center for Intercultural Exchange & Studies
15. 寧楽館 Neirakukan Hall
16. 舞踊場 Dance Hall
17. 課外活動共用施設 Common Facility for Extracurricular Activities
18. 弓道場 Japanese Archery Field

車いすで出入り可能な入り口　車いすで出入り難しい入り口　スロープ　階段　3cm以上の段差　悪路（砂利道など）　下り＞＞＞上り 勾配の大きい坂道　建物

建物（ピロティ部分）　植栽　池・プール　グラウンド・コート　車いすで通行可能な門　車いすで通行不可能な門

設備情報

- エレベーター
- 多目的トイレ
- バス停留所
- 駐車場
- 食堂・売店
- AED
- 案内
- 階段昇降機

令和3年度入学試験状況

一般選抜（前期日程、後期日程）

※　志願者数、受験者数は第１志望のみで集計。（技術教育専修・英語教育専修をのぞく教科教育専攻において、同一専修の初等教育履修分野又は中等教育履修分野のいずれかを第１志望に、他方を第２志望にすることが可能。）

専攻・専修・履修分野			区分 期別	募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育発達専攻	教育学専修		前期	9	24	23	10	10
			後期	3	35	11	4	4
			計	12	59	34	14	14
	心理学専修		前期	9	33	30	10	9
			後期	3	62	31	4	1
			計	12	95	61	14	10
	幼年教育専修		前期	8	23	19	8	7
			後期	3	33	16	5	5
			計	11	56	35	13	12
	特別支援教育専修		前期	7	16	16	7	7
			後期	3	38	16	4	4
			計	10	54	32	11	11
教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	前期	9	30	27	11	11
			後期	2	20	8	3	3
			計	11	50	35	14	14
		中等教育履修分野	前期	8	19	18	8	8
			後期	2	18	7	3	3
			計	10	37	25	11	11
	社会科教育専修	初等教育履修分野	前期	10	30	28	10	10
			後期	2	23	5	3	3
			計	12	53	33	13	13
		中等教育履修分野	前期	7	26	23	6	6
			後期	2	27	9	3	3
			計	9	53	32	9	9
	数学教育専修	初等教育履修分野	前期	9	23	22	10	10
			後期	3	37	13	4	4
			計	12	60	35	14	14
		中等教育履修分野	前期	8	37	37	9	9
			後期	2	32	19	3	3
			計	10	69	56	12	12
	理科教育専修	初等教育履修分野	前期	11	23	22	12	12
			後期	4	43	22	4	3
			計	15	66	44	16	15
		中等教育履修分野	前期	7	20	19	8	7
			後期	3	43	17	4	4
			計	10	63	36	12	11
	音楽教育専修	初等教育履修分野	前期	8	18	15	9	9
			後期	4	50	15	4	4
			計	12	68	30	13	13
		中等教育履修分野	前期	3	6	5	3	3
			後期	1	14	1	1	1
			計	4	20	6	4	4
	美術教育専修	初等教育履修分野	前期	3	6	3	3	3
			後期	2	10	2	2	2
			計	5	16	5	5	5
		中等教育履修分野	前期	3	8	8	3	3
			後期	1	11	2	1	1
			計	4	19	10	4	4
	保健体育専修	初等教育履修分野	前期	6	14	14	8	7
			後期	3	35	20	5	5
			計	9	49	34	13	12
		中等教育履修分野	前期	4	20	20	5	5
			後期	2	31	16	4	4
			計	6	51	36	9	9
	家庭科教育専修	初等教育履修分野	前期	3	5	5	4	4
			後期	1	16	6	2	2
			計	4	21	11	6	6
		中等教育履修分野	前期	3	5	5	3	3
			後期	1	7	4	2	2
			計	4	12	9	5	5
	技術教育専修	中等教育履修分野	前期	2	17	17	3	2
			後期	1	17	10	4	4
			計	3	34	27	7	6
	英語教育専修	中等教育履修分野	前期	6	17	17	8	8
			後期	4	56	20	5	4
			計	10	73	37	13	12
伝統文化教育専攻	書道教育専修		前期	9	16	13	9	7
			後期	5	39	14	8	7
			計	14	55	27	17	14
	文化遺産教育専修		前期	4	15	14	5	5
			後期	2	25	8	3	3
			計	6	40	22	8	8
合　計			前期	156	451	420	172	165
			後期	59	722	292	85	79
			計	215	1173	712	257	244

総合型選抜

※２　総合型選抜は、合格者数は第２次選考合格者を集計。

専攻・専修・履修分野	区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育発達専攻	教育学専修		3	6	6	2	2
	心理学専修		3	3	3	3	3
	幼年教育専修		2	7	7	2	2
	特別支援教育専修		2	4	4	2	2
教科教育専攻	国語教育専修	初等教育履修分野	2	1	1	0	0
		中等教育履修分野	2	4	4	2	2
	社会科教育専修	初等教育履修分野	2	4	4	2	2
		中等教育履修分野	2	13	13	2	2
	数学教育専修	初等教育履修分野	2	2	2	1	1
		中等教育履修分野	2	5	5	1	1
	理科教育専修	初等教育履修分野	2	3	3	1	1
		中等教育履修分野	2	3	3	1	1
	音楽教育専修	初等教育履修分野	2	6	6	1	1
	美術教育専修	初等教育履修分野	2	4	4	2	2
	保健体育専修	初等教育履修分野	2	6	6	0	0
		中等教育履修分野	2	4	4	1	1
	家庭科教育専修	初等教育履修分野	1	1	1	0	0
	技術教育専修	中等教育履修分野	1	0	0	0	0
	英語教育専修	中等教育履修分野	2	1	1	0	0
伝統文化教育専攻	書道教育専修		1	1	1	1	1
	文化遺産教育専修		1	0	0	0	0
合　計			40	78	78	24	24

私費外国人留学生特別選抜

※　私費外国人留学生特別選抜、帰国生徒特別選抜は志願者のあった専修のみ集計。

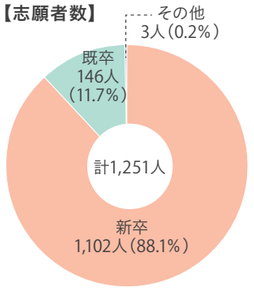
専攻・専修・履修分野	区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教育発達専攻	教育学専修		若干名	3	3	0	0
	心理学専修			3	2	0	0
	幼年教育専修			1	1	0	0
	特別支援教育専修			1	1	0	0
教科教育専攻	社会科教育専修	中等教育履修分野	若干名	1	1	1	1
合　計				9	8	1	1

帰国生徒特別選抜

専攻・専修・履修分野	区分		募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	入学者数
教科教育専攻	英語教育専修	中等教育履修分野	若干名	1	0	0	0
合　計				1	0	0	0

新卒・既卒（一般選抜、総合型選抜 計）

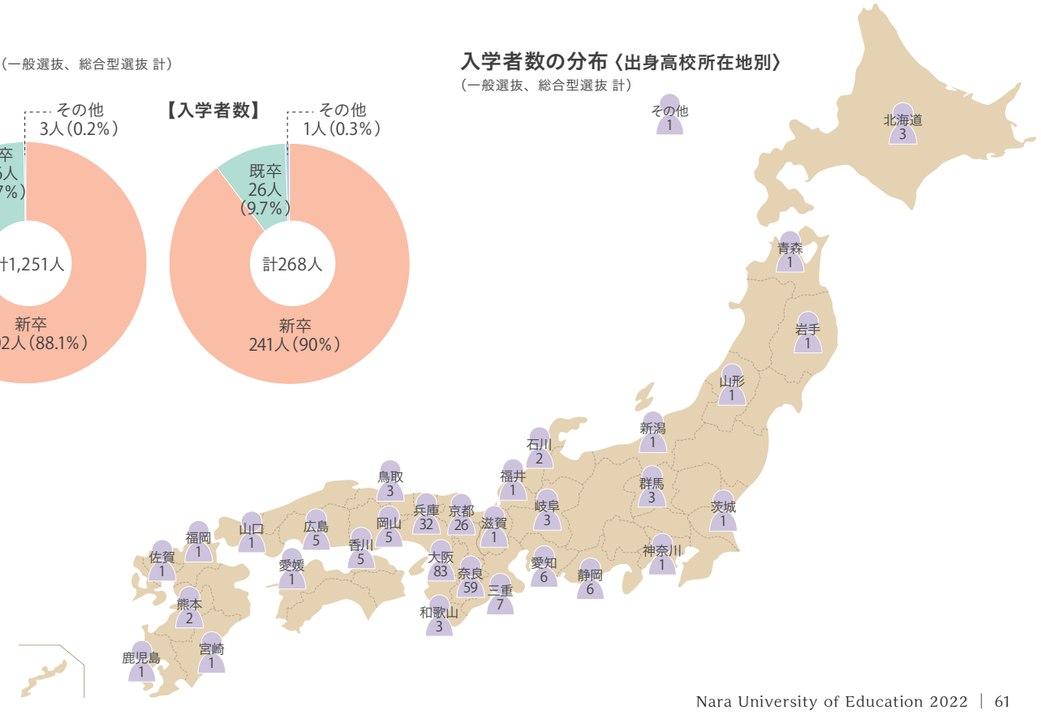
【志願者数】



【入学者数】

入学者数の分布〈出身高校所在地別〉

（一般選抜、総合型選抜 計）



access

■京都駅から
近鉄京都線で近鉄奈良駅まで特急約35分、急行約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

■難波駅から
近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約35分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

■新大阪駅から
JR東海道本線で大阪駅へ、JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約60分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

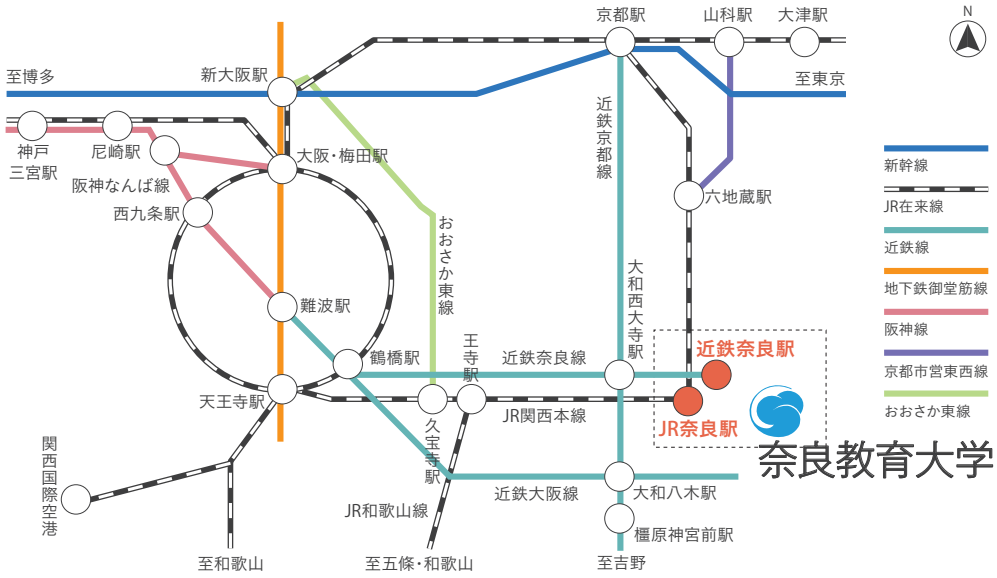
■天王寺駅から
JR大和路快速で、JR奈良駅まで約33分+市内循環バスで約15分「高畑町」下車すぐ

JR大阪環状線（内回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約45分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

■大阪駅から
JR大阪環状線（外回り）で鶴橋駅へ、近鉄奈良線（快急・急行）で近鉄奈良駅まで約50分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

■神戸三宮駅から
阪神本線（快速急行）「近鉄奈良行き」で近鉄奈良駅まで約80分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ

■関西国際空港から
空港バスで近鉄奈良駅まで約90分+市内循環バスで約10分「高畑町」下車すぐ



◎案内資料は窓口でもお渡しできますので、ご希望の場合は、事前に入試課までご連絡ください。

国立大学法人
奈良教育大学 入試課

〒630-8528 奈良市高畑町　TEL 0742-27-9126　FAX 0742-27-9145
ホームページ https://www.nara-edu.ac.jp/

本学HP

なっきょん
LINEスタンプ
好評発売中！

令和3年6月発行
編集・発行／奈良教育大学 入試室